

! School!!!



おおいた 「協育」ネットワーク

活動事例集

Community



Hello!

大分県教育委員会

はじめに

近年、社会の急速な変化とともに、子供たちを取り巻く教育環境も大きく変わってきています。携帯電話やインターネットの普及により、世界中の様々な人々と容易にコミュニケーションをとれるようになった一方、少子化・核家族化が進み、子供たちが様々な世代の人々と生活する機会は減少してきています。また、地域社会においては、住民同士のつながりや支え合いが希薄になるとともに、地域の教育力の低下も指摘されています。

このような社会において、子供たちが安心・安全に、また健全に成長するためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たすとともに、より連携した取組が必要になってきます。

大分県では、平成 18 年 6 月に「新大分県総合教育計画」の重点施策のひとつに、「協育」ネットワークの構築を位置づけ、平成 19 年に「地域協育振興プラン」を策定し、子供たちの育ちや学びを地域ぐるみで見守り支援するための仕組みづくりを、県内全域で進めてきました。

この「地域協育振興プラン」により、「協育」ネットワークは、学校支援地域本部としての機能や放課後の安心・安全な居場所づくりとしての役割を果たしてきましたが、平成 29 年度よりは、関連各事業を統合して、「協育」ネットワーク連携促進事業としてリニューアルし、取組の深化・充実を図ってまいりました。

さらに平成 29 年 3 月の社会教育法等関係法令の改正を受け、地域と学校の連携・協働を進めることにより地域の活性化やまちづくりにもつながる「学校を核とした地域づくり」を目指しているところです。

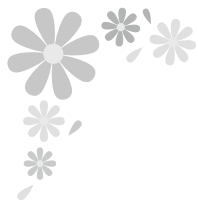
各市町村においても、このような流れの中、各地域で「協育」ネットワークを構築し、多くの地域の皆様が参画のもと活動プログラムの充実を図っていただいております。活動に参加した方々からは「子供たちとふれあうと元気が出る」「学校に行くと地域のみんなとつながることができる」など喜びの声が聞こえてきております。

本活動事例集は、県全体の「協育」ネットワークの状況をお知らせするとともに、各市町村の推進体制、創意工夫あふれる活動内容を紹介しています。ぜひ御一読いただき、今後の「協育」ネットワーク活動の充実への一助としていただけると幸いです。

結びといたしまして、各市町村教育委員会関係課の皆様をはじめ、本活動事例集の作成にご協力いただいた関係者の方々に深く感謝申し上げますとともに、大分県の「協育」ネットワークの取組が、それぞれの地域で育つ子供たちの豊かな学びや地域の活性化に寄与することを祈念申し上げます。

令和 2 年 3 月

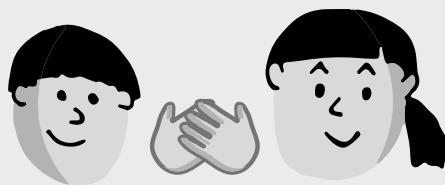
大分県教育庁社会教育課長 石井 利治



目次

1 「協育」ネットワークについて	3
2 各市町村の取組について	7
○ 中津市	8
○ 豊後高田市	10
○ 宇佐市	12
○ 別府市	14
○ 杵築市	16
○ 国東市	18
○ 姫島村	20
○ 日出町	22
○ 臼杵市	24
○ 津久見市	26
○ 由布市	28
○ 佐伯市	30
○ 竹田市	32
○ 豊後大野市	34
○ 日田市	36
○ 九重町	38
○ 玖珠町	40
○ 問い合わせ先	42
3 「学校を核とした地域づくり」に向けて	43

1. 「協育」ネットワークについて



1. 「協育」ネットワークについて

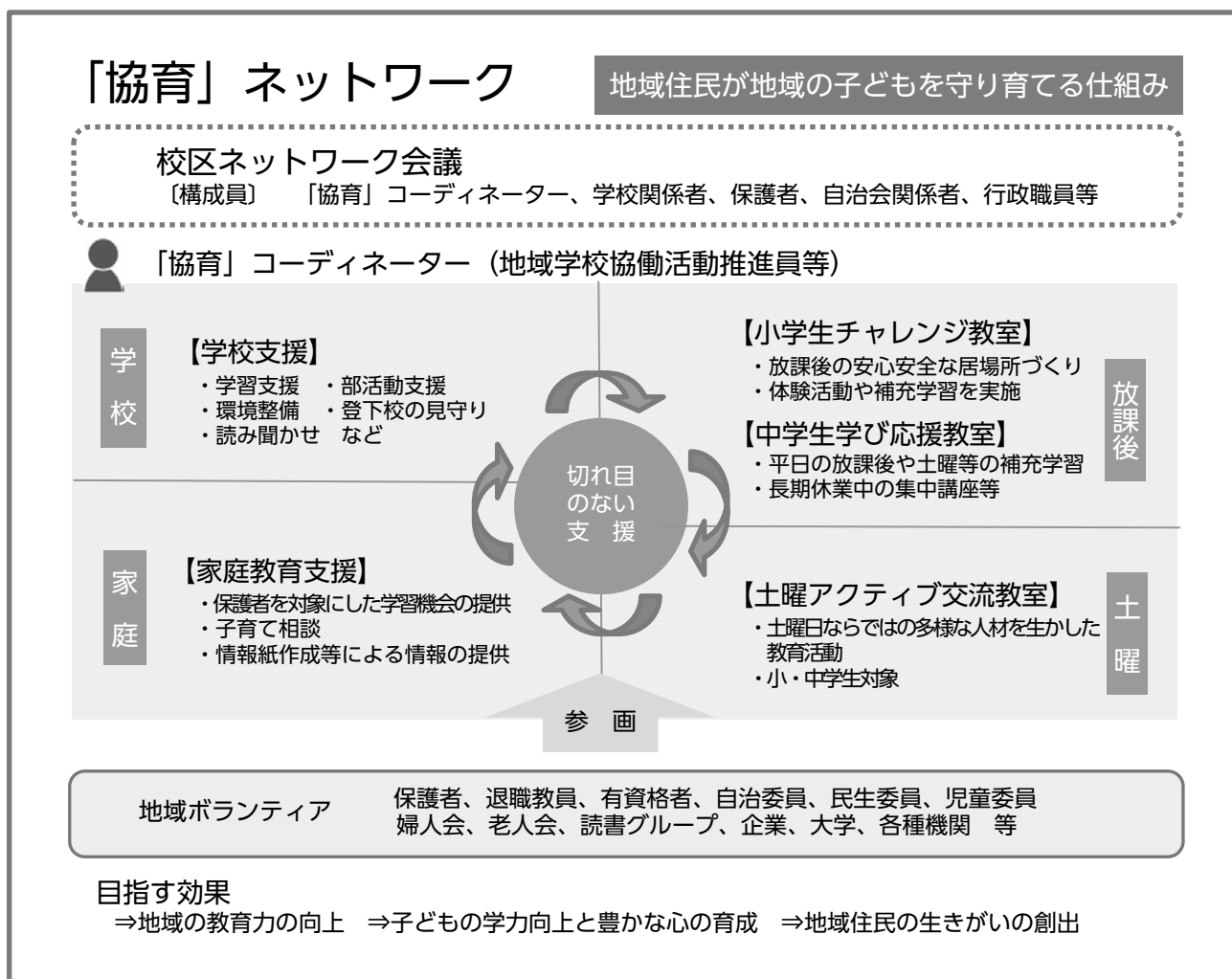
(1) 「協育」ネットワークの概要

「協育」ネットワークとは、おおむね中学校区を単位に、学校関係者・保護者・地域住民・関係団体等が緩やかなネットワークを形成することにより、子供たちの育ちや学びを地域ぐるみで見守り支援するための仕組みです。本県では、平成 18 年 6 月に「新大分県総合教育計画」により重点施策のひとつに位置づけられ、平成 19 年度から県内各地で取組が始まりました。

令和元年度には、県内 121 の「協育」ネットワークが整備され、全ての小中学校区をカバーしています。

(2) 「協育」ネットワークの活動内容

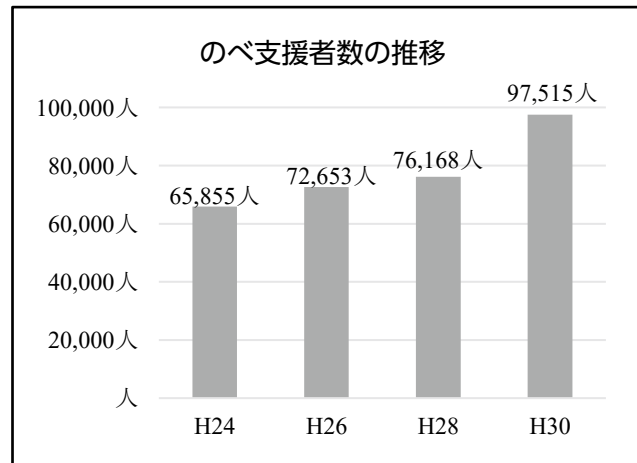
「協育」ネットワークは、地域の公民館等を拠点に、学校、地域住民、関係団体などをつなぐ役割である「協育」コーディネーターを中心に、地域や学校における教育活動を企画・実施しています。平成 29 年度からは、それまでの取組を基盤に「協育」ネットワーク連携促進事業として、県内各地で幅広い地域人材の参画のもと、「学校支援活動」「家庭教育支援活動」「小学生チャレンジ教室」「中学生学び応援教室」「土曜アクティブ交流教室」など、それぞれの地域の実情に応じて、創意工夫しながら多様な教育活動を展開しています。



(3) 「協育」ネットワークの活動内容

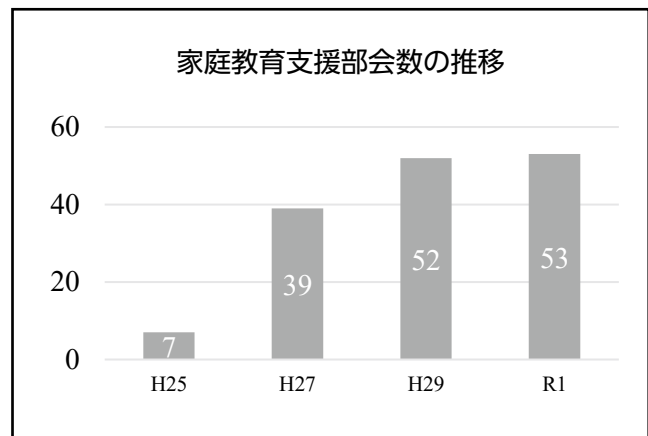
① 学校支援活動

公民館等に配置された「協育」コーディネーターが学校からの依頼を受け、地域の方々を支援ボランティアとして学校に派遣する取組。令和元年度は12の市町村が本事業を実施し、授業のゲストティーチャーや学習サポーターとしての学習支援や、部活動支援、学校図書館の整理や校内の環境整備、登下校指導などに多くの地域ボランティアが参加しています。



② 家庭教育支援活動

地域の子育て経験者、PTA 関係者、民生委員、児童委員など多様な地域人材が家庭教育支援員として活動しています。令和元年度は、12の市町村が公民館等を拠点に家庭教育支援部会を組織し、家庭教育学級など学習機会の提供、学校やPTA などに出向いての親子講座や相談活動など、保護者に向けた家庭教育の支援を行っています。

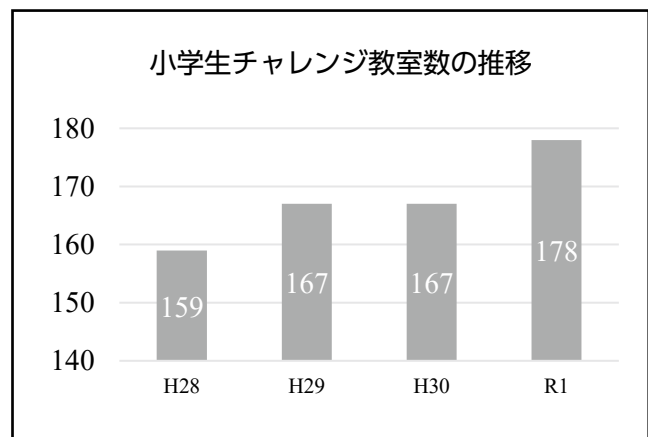


※R1 年度は見込数

③ 小学生チャレンジ教室

主に平日の放課後に、子供たちの安全・安心な居場所として小学校の余裕教室等を活用し、地域人材を活用した様々な体験活動、補充学習などを実施しています。

令和元年度は、県内すべての市町村において、放課後児童クラブとも連携しながら活動し、教室数の増加とともに、内容の充実を図っています。

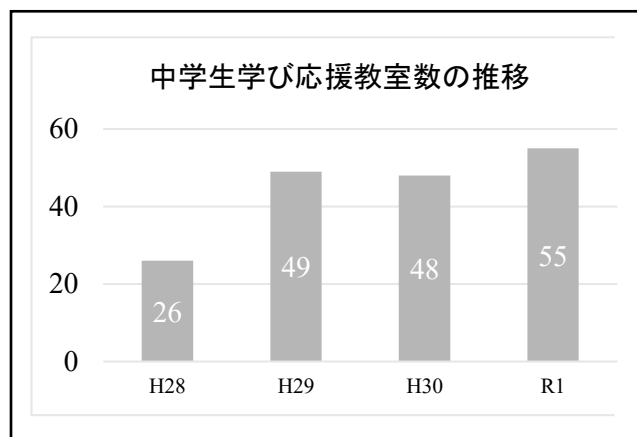


※R1 年度は見込数

④ 中学生学び応援教室

放課後や土曜日等の休日、長期休業中などに、地域住民や教員志望の大学生、民間塾の講師など外部人材の協力による、原則無料の学習支援を行っています。

平成28年度にスタートした取組ですが、令和元年度は10市町村で教室が開設され、数学や英語を中心に、基礎基本の定着を図る学習、それぞれの進路実現に向けた学習などを実施しています。

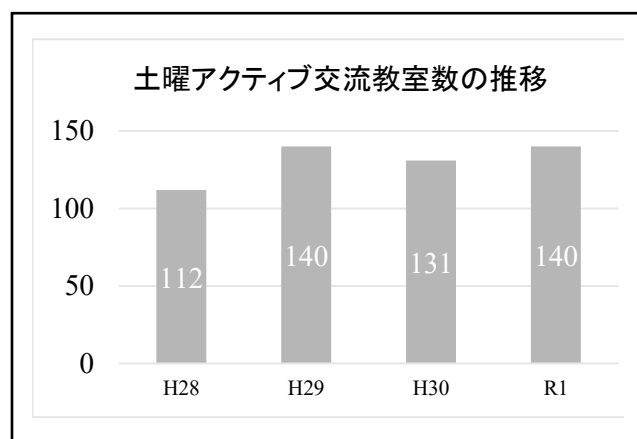


※R1 年度は見込数

⑤ 土曜アクティブ交流教室

多様な経験や技能を持つ地域人材、企業や団体等の社会資源を活用し、様々な体験活動や教養講座を土曜日等の休日に開設しています。

土曜日ならではの幅広い地域住民の参画のもと、令和元年度は14の市町村で魅力的なプログラムを企画・実施し、土曜日等、休日の豊かな教育環境を整えています。



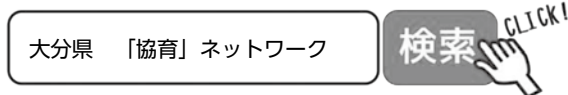
※R1 年度は見込数

(4) その他

大分県教育委員会のホームページでは、これまでの取組を紹介するとともに、家庭教育についての刊行物なども掲載しています。各地域での研修や会議等に活用ください。

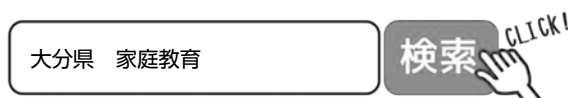
○大分県教育委員会HP「協育」ネットワーク

<http://www.pref.oita.jp/site/syakaikyoiku/list21496-25153.html>

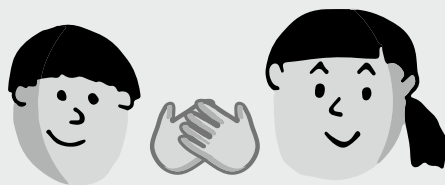


○大分県教育委員会HP 家庭教育

<http://www.pref.oita.jp/site/syakaikyoiku/list21497.html>



2. 各市町村の取組について



中津市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図		
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)			各学校・PTA	放課後児童クラブ
10	小学校	中学校	30	行政職員	地域住民	その他	各校・PTA ↔ 情報共有 ↔ 放課後児童クラブ 連携 ↑ 校区ネットワーク会議 (公民館(協育コーディネーター)) ↓ 連携 学校支援 ← 要請 ← 校区ネットワーク会議 → 地域活動 支援 ↑ 学校支援 ↓ 依頼 ↓ 地域活動 ↑ 支援	自治委員会、学校関係者、PTA、婦人会、老人会、民生児童委員、更生保護司会、食生活推進協議会、青少年健全育成協議会、学習支援ボランティア、学習活動講師、支援ボランティア
	21	10		11	16	14		
活動区分								
学校支援活動		小学生チャレンジ教室		土曜アクティブ交流教室				
中学生学び応援教室		家庭教育支援						

<実施体制や活動の概要>

中津市の校区ネットワーク会議は、全ての中学校区にある公民館を拠点として開催しています。公民館長や地域住民がコーディネーターとして、学校や子ども教室の支援や子どもを取り巻く生活、地域情報の共有と課題解決に向けた取り組み、家庭教育支援など、地域ぐるみで、子ども、学校を見守り育む安全・安心な地域づくりをめざしています。

<活動事例>

学校支援活動

三保すくすく活動

6年生が、青少年健全育成協議会や更生保護司会、民生児童委員の方々にガイドいただきながら、地域にある歴史遺産（長久寺、法華寺）や有名な祭りの舞台（古要神社：神相撲、原田神社：北原人形芝居）を探訪します。この学習は総合学習に位置づけられ、学習のまとめは保護者や地域の方々に披露されます。また、他の学年も地域の方が学習活動（火起こし体験、珠算）にかかわる機会は多くあります。



小学生チャレンジ教室

北部子ども放課後教室（神楽教室）

地域に伝わる蛸瀬神楽の伝承を目的として、北部小学校の1～6年生の12名が蛸瀬神楽保存会の方々に毎週火曜日16：00～17：00に教えていただき、地域の祭りや老人介護施設への慰問で神楽を披露しています。小学校時代に神楽を習っていた児童は、現在保存会の一員として小学生をサポートしています。



土曜アクティブ交流教室

沖代子ども放課後教室

地域サロン「のじこ」や食生活改善推進協議会の協力で、郷土料理（おせち、巻きずし、お月見団子等）を作って食べます。また、中津レクリエーション協会の協力で、ミニゴルフや輪投げ、カーリングなどの室内遊びやO-Laboの協力で科学体験遊びをして楽しんでいます。



中学生学び応援教室

学びのススメ土曜塾

NPO法人「学びの共同体」と連携して、課外に基礎、基本を定着させるために学び直しの場を設定し、生徒に確かな学力をつける取り組みを通して、中学校の学校経営の重点目標をめざすとともに、進学への意欲のある生徒の希望の実現を支援することを目的としています。今年度は5つの中学校区で行っており、少人数の良さを生かして、生徒の困りに応じた指導ができています。



家庭教育支援

中津子育て講座（どならない楽々子育て練習法）

幼児期の家庭における子育てのヒントになる「どならない子育て法」を身につけることを目的としています。児童家庭支援センター「和（やわらぎ）」より講師をお招きして、週に1回のペースで計4回の講座を受講します。講座で学んだことは各家庭で実践し、次の講座で交流を行います。講座終了後は希望者に子育て相談の時間を設けています。講座中は託児支援も受けられ、参加者が安心して受講できる環境も整えられています。



<活動の成果・効果>

地域の子どもたちに豊かな体験の提供や学力補充など、学校外の場所で保護者のニーズに合わせた環境づくりがどの地域でも整っています。活動を支えるスタッフの高齢化に課題は抱えていますが、どのスタッフも子どもたちの笑顔や元気な声に喜びを感じてかかわってくれています。中には、子どもが参加している保護者がスタッフとしてかかわっている教室もあり、「地域の子どもたちは地域で育てるという意識」が広がり、次世代のサポーター育成も期待できます。

豊後高田市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図			
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)					
6	小学校	中学校	5	行政職員	地域住民	その他			
	11	6		-	0	5			
活動区分									
学校支援活動		小学生チャレンジ教室		中学生学び応援教室					
土曜アクティブ交流教室		家庭教育支援					学校支援ボランティア 地域 団体 PTA		

<実施体制や活動の概要>

統括コーディネーター及び全中学校区に1名ずつ地域コーディネーターを配置しています。学校支援活動においては、地域コーディネーターは各公民館に拠点を置き、学校と地域とのつながりをコーディネートしています。

小学生チャレンジ教室、中学生学び応援教室等では学校のスケジュールを事前に把握し、講師等の募集をできるだけ前倒しできる体制を整えています。また、講師からのフィードバックが学校に届けられるように連絡調整を行っています。

<活動事例>

小学生チャレンジ教室	わくわく体験活動
	<p>「学びの21世紀塾」の取り組みの一環として、市内各地区公民館等を拠点に、小学生を対象とした各種の体験活動を実施しています。</p> <p>伝統文化からスポーツレクリエーションまで、地域の特性を生かした“わくわく”いっぱいの多彩なプログラムとなっており、「自ら考えること」「協力して工夫すること」を通し、子どもたちの自主性や創造性、社会性を育てています。</p> <p>実施にあたっては、指導者やお世話役として多くの地域ボランティアにご協力いただいております。子どもたちと地域の方との交流の場にもなっています。</p> <p>活動としては、伝統芸術文化活動、環境教育活動、ものづくり活動、スポーツ活動、趣味教養・文化活動、家庭教育活動、農業体験活動、職業体験・社会体験活動など様々な多くの「学ぶ」の中で豊かな心を育むことを目的とした内容となっています。学びの21世紀塾は「知・徳・体」の学びの3本柱を理念とし、活動を行うものであり、『わくわく体験活動』は「徳」を養うものとして設置されています。</p>

小学生チャレンジ教室

寺子屋昭和館・プラチナ館



月・火・木・金曜日の放課後に開講しています。（※長期休業中は除く）講師には、教職員OB、地域住民になっていただいております。また、高田高等学校の生徒など年齢の近い高校生にも学習サポーターとして学習支援をしてもらっています。

小学生4～6年生を対象とした放課後学習教室です。（※開講時刻は16:00～18:00）放課後、ランドセルを背負って教室にやってきます。学校の課題や自主学習など、個人に応じたメニューで学習しています。自分のペースで学習することができ、また、分からないところは講師や高校生サポーターに質問し、主体的に学習に取り組んでいます。

学習サポーターと受講する児童たちは週4日の活動の中で、次第に打ち解け、学習する中で、いろいろな話をし、児童たちの放課後の居場所づくりの場にもなっています。

学習サポーターに国語の教科書の朗読を聞いてもらったりもしています。

土曜アクティブ交流教室

いきいき寺子屋教室



講師にはそろばん塾の先生や地域住民の方になっていただいています。

■英会話講座

幼稚園・低学年から実施している人気のある講座です。

幼稚園・低学年はゲームを交えながら楽しく英会話の勉強を行います。

活気のある教室になっています。

発達段階に応じて、文章の読み書きも学習していきます。

季節に合ったテーマを取り入れながら学習していくことで、英語圏の文化にもふれあえるような講座になっています。

■そろばん講座

昔から、『よみ・書き・そろばん』と言われます。子どもたちの計算力はもちろん判断力も育む、人気の高い講座です。

学習が進むと徐々に難しい問題へチャレンジしていき、日に日に多くの問題が解けていく達成感を感じながら楽しく学習していきます。

習熟度別個別指導を中心に行っています。

中学生学び応援教室

学びの21世紀塾夏休み・冬休み特別講座



夏休みと冬休みの期間中を利用し、中学校3年生を対象とした、受験対策講座を実施しています。

国語・数学・英語の3教科の講座を開講し、受講生を習熟度別にクラス分けし、個人に応じた講座を受けられるようにしています。

講師は市内の塾経営者や学校OBに担当していただいています。また、現役大学生等の学習サポーターの協力を得ながら実施しています。

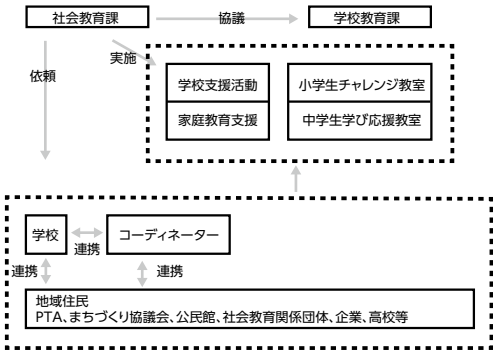
7日間の短期集中講座でこれまでに学校で学習してきたことの復習や応用問題に挑戦していきます。それぞれの講師が生徒のために用意した教材を使用します。

複数の学校の生徒が一緒になって講座を受け、その中で学校間での交流が生まれます。同じ高校を目指している生徒たちは良い刺激を受けながら受験対策に取り組んでいます。

<活動の成果・効果>

- ・ 補充学習による学校教育の補完、個に応じた学習支援の提供。
- ・ 放課後の児童の居場所づくり。
- ・ 10年間の継続した取組で、小学校の時この教室に通っていた子どもが、高校生サポーターとして活躍。
- ・ 確かな学力の定着への寄与、土曜の子どもたちの居場所づくり。
- ・ 多種多様な学習の提供による子どもの経験値の高まりや生徒の受験に対する不安の解消、苦手分野の克服と得意分野の向上に寄与。
- ・ 他校の生徒と学び、切磋琢磨することによる学習意欲の向上。

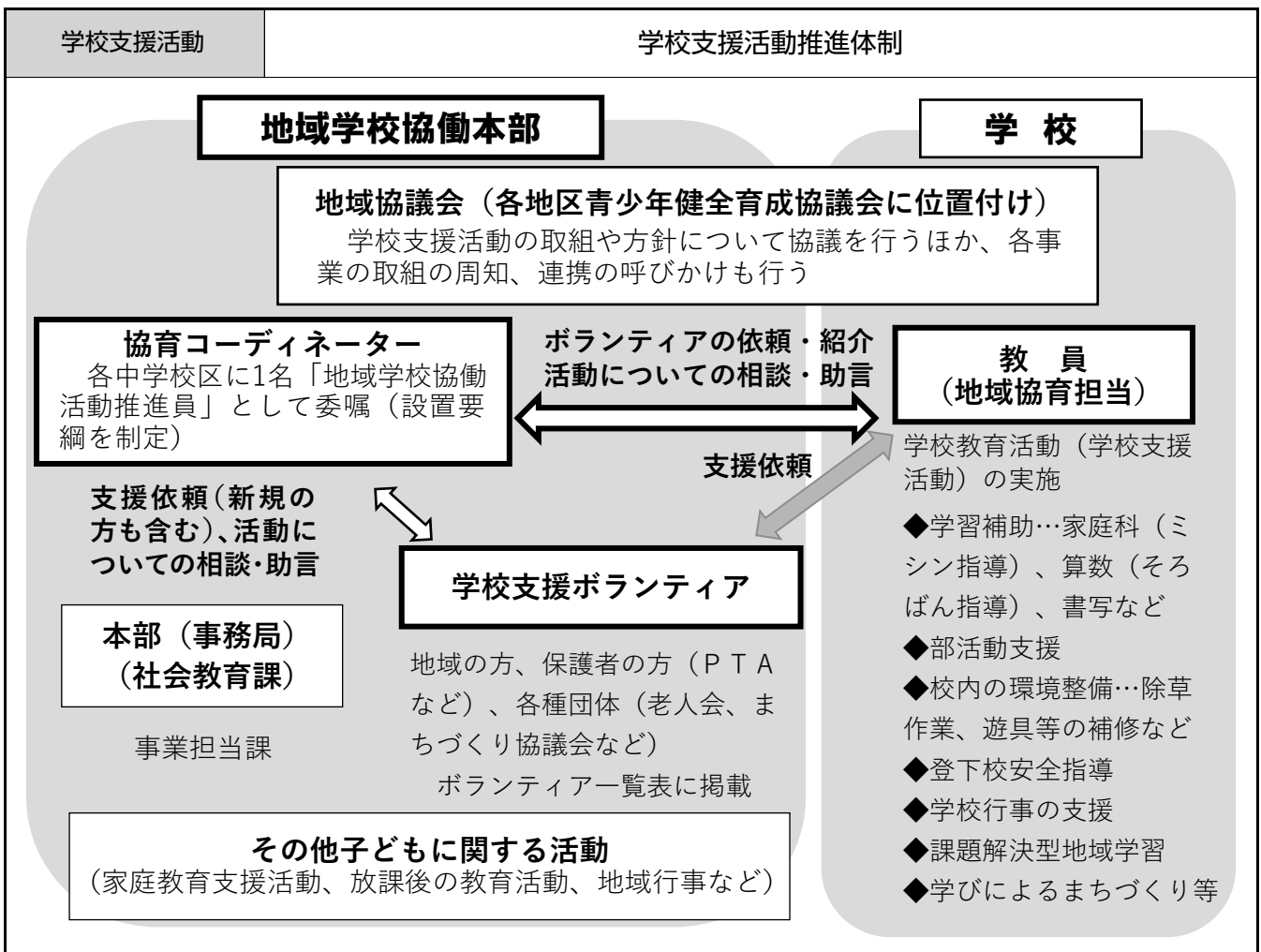
宇佐市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図	
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)			
7	小学校	中学校	19	行政職員	地域住民	その他	
	24	7		0	0	12	7
活動区分							
学校支援活動		小学生チャレンジ教室		中学生学び応援教室			
家庭教育支援							

<実施体制や活動の概要>

宇佐市では、7中学校区に地域協議会（校区ネットワーク会議）を設置しており、各中学校区に1名ずつ統括アドバイザー（地域学校協働活動推進員）を配置し、全小中学校へ協育コーディネーターを配置することを目標としています。現在は、31小学校区中24校（19名）の方に協育コーディネーターを務めていただき、学校と地域との橋渡しの存在としての活躍を期待しています。

<活動事例>



小学生チャレンジ教室

院内中部放課後チャレンジ教室

院内中部チャレンジ教室では、工作、手芸、野菜づくり、ボランティア活動、むかし遊びなど、いろいろな体験活動を行います。

院内地域には歴史的な石橋が数多く点在していることもあり、木工の得意な地域ボランティアによる石橋のミニチュアを使った学習を行っています。

体験活動は班分けを行うことで、活動中に班長や上級生が1年生のお世話をよくしてくれます。



中学生学び応援教室

宇佐市中学生学び応援教室

宇佐市では、様々な理由により家庭での学習が困難な中学生に対し、地域住民等の協力を得て、公民館等に自主学習の場を設けています。中学生の学習習慣の確立や学習意欲の向上を図る取組みとして市内各中学校区（7校区）での開設を指標に掲げ、令和元年度は4校区で実施し延べ255名が参加しました。実施にあたっては、対象学年や開催場所、参加者の見守りや助言等を行っていただく協働活動サポーターの人選等について学校との打合せを重ね、参加者や学校にとってより良い方法を模索し、地域学校協働活動推進員や公民館関係者の協力を得るなどし、各学校の実情に応じた工夫をしました。



家庭教育支援

宇佐市PTA連合会子育て講演会

宇佐市では長洲地区「みんなで良い子に育てる会」（長洲地区）、宇佐市PTA連合会母親部会（市内7中学校区）を家庭教育支援部会と位置づけ、連携を強化するため、各団体と共催で子育てに関する講演会や研修会を実施しています。

毎年1月頃にPTAの母親部会会員や父親部会会員を対象に、親としてのあり方や子育ての楽しさ等について仲間と学ぶ機会を設けることで、家庭教育の重要性を考える講演会を実施しています。



<活動の成果・効果>

地域学校協働活動推進員を引き受けて下さった方々は、地域のことを本当に考えて下さっており、地域の教育力向上において必要不可欠な人材です。熱心な方は積極的に協育ネットワークの研修会に参加し、学んだことを地域のために活かしていただいています。人材を見つけるにあたり、毎年、全小中学校に協育コーディネーターの推薦をお願いしますが、なかなか見つからない学校もあり、地域人材の発掘が今後の課題となっています。

地域の伝統文化学習、農業体験学習等を行うには地域に密着した講師が必要なので、学校支援活動は効果的です。

小学生チャレンジ教室において、様々な体験を通す中で、児童たちの嬉しそうな顔や「またやりたい」という声を聞くと、児童が発達に応じた達成感を味わっていると思われれます。

別府市

校区ネットワーク会議の設置			[協育]コーディネーターの配置			体制図			
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)					
6	小学校	中学校	6	行政職員	地域住民	その他			
	14	8		14	6	0	0		
活動区分									
学校支援活動	小学生チャレンジ教室		土曜アクティブ交流教室						
家庭教育支援									

<実施体制や活動の概要>

別府市は中央公民館及び各地区公民館5館、合計6館にコーディネーターを配置し、市内全小中学校及び幼稚園への支援、連携を行っています。校区ネットワーク会議は各公民館の運営委員会と連動して行われています。市全体の連絡調整を図る機関として、中央公民館で行われる別府市公民館運営審議会が年2回開催されています。

コーディネーターは市職の公民館臨時職員が担っており、コーディネーターは公民館で開催する子どもを対象とした各種講座(小学校チャレンジ、土曜アクティブ)の企画・運営、学校で行う学校支援、放課後学習教室等、中央公民館を中心として行う家庭教育支援学級への参加を中心に活動をしています。学校運営協議会にオブザーバー参加するコーディネーターもあり、地域と学校の連携を図っています。

<活動事例>

学校支援活動	日本語指導
<p>外国籍の中学生に対して、大学生が日本語指導を行っています。中学校からの要請を受け、担当コーディネーターが大学と連絡を取り、大学生が主に放課後の時間を活用して、中学校を訪問して日本語指導を実施しています。</p> <p>大学生は、大学側の窓口となる先生が募集した大学生を派遣してもらっています。</p> <p>大学生なので、大学の授業時間があり、日程の調整が難しい面はありますが、日本語指導の必要性、大学との連携等、本市の特色ある取組のひとつです。</p>	
小学生チャレンジ教室	放課後学習ひろば
<p>市内全小学校を対象に、放課後学習ひろばという名称で宿題の見守り、放課後の居場所づくり活動を行っています。</p> <p>コーディネーターが地域のボランティアを募り、学校の空き教室を中心に、月に2回、1時間程度の活動を行っています。</p> <p>参加児童は、学校の実施希望学年から参加希望児童を募っています。</p> <p>運営に関しては、ボランティアの中心となるボランティアリーダーを決め、ボランティアリーダーとコーディネーター、学校担当者が話をしながら進めています。宿題の見守りが基本ですが、宿題後の活動に、百ます計算や折り紙に取り組んだり、それぞれで工夫した内容に取り組んでいます。</p>	

中央公民館及び各地区公民館において、土・日・祝日、長期休業日に、子どもの体験活動を中心とした土曜アクティブ交流教室を、公民館子どもひろばという名称で実施しています。

内容は各公民館独自の内容ですが、書写、卓球、将棋、中国語の4つの講座を通年行うような取り組みをしている館もあります。

講師は地域の方を中心にお願いをしていますが、長期休業中の講座においては、警察署や消防署見学、九重青少年の家の職員による講座など、地域にとらわれない活動を行っています。



月に一度、市の主催講座で行っている家庭教育学級を、中学校区（ブロック）ごとに開催しています。

各学校の代表者と担当コーディネーター、社会教育課職員が実行委員として会議を行い、各小・中学校区での課題を出しながら、学習する内容を決めています。日時の決定、講師の依頼、学校へのチラシ配布などを行い、コーディネーターと学校代表者が中心となり開催しています。

会場は中学校区にある公民館が中心で、保護者のみならず地域の方も参加しています。



<活動の成果・効果>

本事業を継続して実施することで、活動に参加する年間のボランティア延べ人数が増加しています。これは活動に参加するボランティアの方が、活動にやりがいや楽しさを感じ、複数回の参加や複数人での参加が増えたのではないかと考えられます。活動への参加回数が増えることにより、子どもや学校への理解が進み、子どもや学校の抱える課題を学校と地域が共有する機会の増加にもつながるのではないかと期待できます。

また、地域の方との接点が増えることにより、子どもにとっては社会性の向上、地域での知り合いや顔見知りが増えることでの安心感の高まりが成果として考えられます。

学校にとっては、授業や行事において、地域の方がゲストティーチャーや作業補助として参加することが今後さらに進んでいけば、授業や校務の負担軽減につながるのではないかと考えられます。

杵築市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図		
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)				
3	小学校	中学校	4	行政職員	地域住民	その他		
	10	3		6	0	4		0
活動区分								
学校支援活動		小学生チャレンジ教室		中学生学び応援教室				
土曜アクティブ交流教室		家庭教育支援						

<実施体制や活動の概要>

地域での「協育」ネットワークを進めるための取り組みとして公民館が地域と学校をつなぐ役割を担い、学校の教育活動を地域で支援する体制づくりを進めるため、公民館に学校やPTA、地域の各種団体による「校区ネットワーク会議」を組織し、校区コーディネーターを配置しています。

「コーディネーターの一元化による総合的な子ども支援体制の構築」、「学習成果の還元と生きがいがづくり」、「安全安心な子どもの居場所づくり」、「学校教育活動の一層の充実」の実現に向けた活動に励んでいます。

<活動事例>

学校支援活動	学校支援活動
<p>地域住民がボランティアとして学校教育活動を支援する体制を整備し、学校と地域の双方向の連携を深めています。また、地域住民の学習成果の活用機会を拡充するなど、地域全体の教育力の活性化にも力を入れています。</p> <p>【支援実績】 琴の指導、干潟観察、盆踊り・太鼓の指導、読み聞かせ、農業体験学習（稲作）、しめ縄づくり、カンボジアへの支援米発送、餅つき、昔の遊び道具、手作りおやつ作り、木工教室、交通安全教室、防犯教室等</p>	<p>音楽の授業で琴教室の方々による指導の様子</p>
小学生チャレンジ教室	いきいきクラブ
<p>小学校の余裕教室等を利用して、放課後の子どもたちの見守りを行いながら学習活動と体験学習を実施しています。地域活動推進員や協力活動サポーターを配置したり地域の人材を活用したりして地域ぐるみで子育て支援体制を整えています。</p> <p>【学習活動】 小学校の余裕教室で宿題やドリルに取り組んでいます。また平成30年度から漢字検定にチャレンジしています。活動終了後は保護者が迎えに来る18:00までの間、見守りを行っています。</p> <p>【体験活動】 小学校の体育館等で講師を招聘し、地域ボランティアと一緒に活動を行っています。活動終了後は保護者が迎えに来る18:00までの間、見守りを行っています。</p>	<p>学習活動の様子</p>

<p>中学生学び応援教室</p>	<p>山香未来塾</p>
<p>山香中学校3年生を対象に、7月末から2月末までの間の土曜日(基本的に月3回)、5教科の学習援助を行っています。 地元退職教員の積極的な協力を頂き、基本的には1クラスで行いますが、英語と数学については、習熟度によって、2～3教室に分けて指導しています。 多くの生徒が休むことなく出席しています。</p>	 <p>山香未来塾開校式の様子</p>
<p>土曜アクティブ交流教室</p>	<p>グローバル塾</p> <p>土曜日(日曜日、祝日を含む)に公民館等の社会教育施設を活用して、地域の多様な経験や技能を持つ人材の協力により、基礎、基本の定着を図るための補充学習や多様な体験活動等を実施することで、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日等の環境づくりを図っています。</p> <p>【学習活動】算数のプリントを補充学習として行い、退職教員等が保育活動推進員として指導しています。 英語は、ALTを講師に迎え実施しています。イラストやカードを使って、視覚的にも楽しく分かりやすい教室となっています。</p> <p>【体験活動】造船所見学、電車に乗っての社会体験、クッキング、餅つき、カヌー体験、スケート体験、姫島ウォーキング体験など</p>
<p>家庭教育支援</p>	<p>家庭教育支援活動</p> <p>学校・家庭・地域が連携して、親への学習機会や情報の提供等の家庭教育を支援する体制を整備し、地域全体の教育力の活性化と子どもの健全育成を行っています。</p>  <p>子育てに活かすアンガーマネジメント講座の様子</p>

<活動の成果・効果>

- ・参加した子どもから、「もっと上手になりたい」、「次はどんな活動をするの」と楽しみにしてくれていて、毎回休まず参加する子どもが年々多くなっています。
- ・支援をしてくれる地域住民にはお年寄りが多いが、その方々にとっても活動する楽しさ、子どもとふれあう喜びを感じることで、「地域の子どもは地域で育てる」という意識が地域住民の中に広がっています。
- ・学校のカリキュラムでは取り組むことが難しい多種多様な体験活動による学びの機会の提供や、地域住民との豊かな交流が子どもたちの成長につながっています。

国東市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図			
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)			 <p>国東市協育ネットワークの目的は、学校、家庭及び地域社会が連携・協働して地域の子どもを育てていく（協育）の推進に資する取組を円滑かつ効果的に実施することを目的とする。</p> <p>※協育とは学校・家庭・地域社会の協働を促進し、子どもの成長を促すこと。</p>		
4	小学校	中学校 その他 (幼稚園等)	4	行政職員	地域住民	その他			
	11	4		1	3				
活動区分									
学校支援活動		小学生チャレンジ教室		中学生学び応援教室					
土曜アクティブ交流教室		家庭教育支援							

<実施体制や活動の概要>

<p>【実施体制】 コーディネーターを各中学校区（地域ネット）に配置。学校や関係機関・団体との連絡調整や事業の企画・準備・運営、参加募集等を担っています。</p> <p>【活動の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校支援では総合学習等での地域人材派遣支援や、司書不在日の支援員の配置、また始業前の読み聞かせやドリル学習等での学校の負担軽減を行っています。 小学生チャレンジ教室は、学習補助として「学びの教室」を毎週1回、体験学習として「放課後子ども教室」を月1回実施しています。学びの教室では指導者と担任とが連絡ノートを使い情報共有を行っています。また学びの教室の土曜日版（土曜アクティブ交流教室）を、4校が月1回実施しています。 中学生学び応援教室は、毎週水曜日と月1回土曜日（2校のみ）に実施。数学と英語を中心に、対象学年や指導内容を学校ごとに協議しています。中学入学時の出遅れに早期に対処するために1年生を対象とする場合や、受験対策として3年生を対象とする場合など、柔軟に対応しています。 家庭教育支援事業では、毎月の放課後子ども教室参加募集を利用して「親のまなび」の啓発を各家庭に配付。また家庭教育学級を実施する学校への活動費を支給しています。 学校、指導者、コーディネーター間の打合せは随時行っており、コーディネーター間でも月1回情報交換を行っています。年度末には市の推進協議会を開催し、2部構成で第1部は事業総括と次年度計画の説明、第2部は中学校区ごとの地域ネットワーク会議に分かれて情報交換会を行っています。

<活動事例>

学校支援活動	榎来土手つき唄・千本づき踊り学習活動
<p>土手つき唄・千本づき踊りは、かつて灌漑用ため池の補修工事などの際に土を突き固める作業の掛け声として唄われた労働歌に由来しています。</p> <p>国東半島は伝統的なクヌギ林とため池による循環型農林業が世界農業遺産に認定されており、土手つき唄・千本づき踊りは往時の地域共同作業による池普請の様子を現在に伝える伝統芸能です。国見中学校区では榎来地区において保存会が継承活動を行っています。</p> <p>国見中学校では、世界農業遺産の学習の一環として榎来土手つき唄・千本づき踊りの学習に取り組んでおり、校区ネットワークでその支援を行っています。</p> <p>学習活動は毎年11月上旬、保存会のメンバーが学校に赴き、1年生を対象に口説き、太鼓、踊りを指導しています。この後学校の文化祭で発表することになるため、生徒も熱心に指導を受けています。</p> <p>学習成果の発表は校内にとどまらず、市の「教育の里づくりの集い」や、国見町人権フェスティバルで披露されています。令和2年2月15日に開催された世界農業遺産中学生宇佐サミットでは、ポスターセッションで学習内容を発表しました。</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="writing-mode: vertical-rl; margin-left: 10px;">保存会による指導の様子</div> </div> 

学校支援活動

国見歌舞伎学習活動

国見中学校区の伊美小学校では、毎年5年生が国見町に残る国東市指定無形民俗文化財、国見歌舞伎について学習しており、校区ネットワークでその支援を行っています。

国見歌舞伎は農村の娯楽文化としてかつては青年団を中心に演じられてきましたが、その後高齢化や指導者不足による幾度かの中断を経て、地元の有志により国見歌舞伎保存会が結成された経緯があります。

この活動は、保存会のメンバーが総合学習の時間に講師となって児童を指導するもので、一つの演目を演じられるようになるように、学校と保存会とが綿密に練習日程を打ち合わせて行っています。

練習の成果は「高齢者ふれあい交流会」等の学校行事で地域の方に披露されるほか、老人ホームや介護施設に慰問に向くこともあります。

上演に際しては、衣装・小道具一式を保存会から、また着付けや化粧は保護者からの協力も得て、本格的な出で立ちで舞台上に立ち、学校・地域・家庭が連携して継承に取り組んでいます。



保存会による指導



ふれあい交流会で上演

学校支援活動

蛇谷太鼓継承活動

武蔵西小学校区に残る古い地名、「蛇谷」の由来となった大蛇退治の伝説を題材にした太鼓の継承及び調べ学習に取り組んでいます。

蛇谷太鼓は昭和55年当時、武蔵西小学校に勤務していた教職員が校区で語り継がれる伝説を素材に、和太鼓のリズムと民謡調の語りを合わせた音楽物語として構成しました。小規模校であることから全校児童での取り組みを続け、上級生から下級生へと受け継がれる学校独自の活動として、現在まで継承されています。

校区ネットワークでは、これまでの学校の取り組みをベースに、太鼓指導や調べ学習への支援を行っています。太鼓は当時創作に携わった教職員OBを指導者として、練習や引き継ぎ式において指導を仰いでいます。また、6年生は総合学習の時間に蛇谷伝説の調べ学習に取り組んでおり、地域の人の案内や説明をいただきながらフィールド調査等も行っています。

こうした太鼓や調べ学習の成果は、町内のイベント等で毎年地域住民に向け発表する場が設けられています。テレビや新聞等で紹介されることも多々あることから、学校の特色として地域に広く認知されており、在校生・卒業生の母校に対する誇り、郷土に対する愛着の醸成につながる活動となっています。

なお、武蔵西小学校は令和2年度に武蔵東小学校及び武蔵中学校と統合され、義務教育学校「志成学園」となることが決定しています。そのため、令和元年度は統合後の継承を見据え、武蔵東小学校の5年生（次年度新6年生）と合同での活動となりました。



教員OBによる指導



人権フェスティバルで発表

<活動の成果・効果>

- ・子ども達には「集まれる場所」「学校外で学べる場所」を提供し、指導者（地域の大人）には「経験・能力を活かせる場所」「やりがいと生きがいを感じる場所」を提供することにつながっています。
- ・保護者や地域住民等が指導者となることで、子ども達も新鮮な気持ちで学習に取り組み、学力だけでなくコミュニケーション能力の向上も見られます。また、地域の人に対し、「お世話になっている」と感謝の気持ちを持つようになりました。
- ・職員会議等により教員の目が届かない時間帯に地域の人を読み聞かせやドリル学習を実施することで学校の負担も軽減され、子どもが集中力を保ったまま1時間目に臨めるという効果もあります。
- ・過疎化が進む地域では地元の学校が伝統行事の学習・継承活動に取り組んできました。その学校も少子化により統廃合が進められてきましたが、統合後の学校でも活動を引き継ぐ取り組みができています。

姫島村

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図		
箇所数	対象学校数			人数	(内訳)			
1	小学校	中学校	その他 (幼稚園等)	1	行政職員	地域住民	その他	
	1	1	1		1			
活動区分								
学校支援活動		小学生チャレンジ教室		中学生学び応援教室				
土曜アクティブ交流教室		家庭教育支援						

<実施体制や活動の概要>

学校・地域の連携体制の構築を図り、学校教育活動や放課後等、様々な場面における子どもの活動を総合的に支援することを目的として、「協育」ネットワーク連携促進事業を実施しています。各事業ごとに学校や地域の方々・教育活動推進員の方と打合せを行い、事業に取り組んでいます。

<活動事例>

学校支援活動	郷土料理教室
	<p>11月29日(金)に小学校1・2年生を対象に婦人会役員の手ほどきを受けながら自分たちで植えて収穫したさつま芋を使い、郷土料理の石垣もち作りをしました。</p> <p>出来上がった石垣もちを婦人会役員の皆さんと一緒に食べながら、郷土料理の伝承や親睦を深める事が出来ました。</p>
小学生チャレンジ教室	かっこ塾
	<p>5月8日(水)に小学校4・5・6年生を対象に平成31年度「かっこ塾」の開塾式を行いました。希望児童、ボランティアの方々が参加し、1年間の目標や取り組み等を発表しました。</p> <p>各学年に応じて、プリントを使っての学習を行っています。分からない所などは、ボランティアの方々に指導して頂き、参加児童も勉強する意欲が上がっています。</p>

中学生学び応援教室	水曜日塾
	<p>10月2日（水）に中学校2年生を対象に令和元年度「水曜日塾」の開塾式を行いました。</p> <p>生徒、教育活動推進員、ボランティア、中学校校長、その他関係者が参加し、一年間の目標や計画等を発表しました。</p> <p>1年生の復習から、数学プリントを中心に取り組んでいます。生徒から積極的に分からない所などは教育活動推進員の方に質問などをして、真剣に学習に取り組んでいます。</p>
土曜アクティブ交流教室	土曜日塾
	<p>10月5日（土）に中学校3年生を対象に令和元年度「土曜日塾」の開塾式を行いました。</p> <p>生徒、教育活動推進委員、中学校教頭が参加し高校入試に向けての学習計画等を話しました。</p> <p>2年生の復習から、高校受験に向けた数学過去問題に取り組んでいます。</p> <p>生徒は分からない所など、教育活動推進員に教えてもらいながら真剣に学習に取り組んでいます。</p>
家庭教育支援	親子ふれあい福祉入門教室
	<p>11月30日（土）に小学校6年生とその保護者を対象に親子ふれあい福祉入門教室を行いました。社会福祉士・介護支援専門員の方々の協力により車イスの使い方等、福祉体験を行いました。高齢者疑似体験では耳栓・特殊メガネ・ジェル手袋等を使って折り紙等をしました。普段、何気なく行っている日常生活が、加齢に伴い困難になっていくということ、参加者は身をもって体験する事が出来ました。</p>

<活動の成果・効果>

【学校支援活動】学校、地域住民、PTAなどと連携をとりながら活動する事が出来ました。

【小学生チャレンジ教室】ボランティアの方々に採点をしてもらい全問正解すると次のプリントへ進めるので、友だちと競いながら、教え合いながら学習に取り組んでいます。それがやる気や喜びに繋がっているように思います。

【中学生学び応援教室】活動を通して生徒や教育活動推進員の方も基礎学力の向上のために、やる気の意欲がとてもうかがえました。

【土曜アクティブ交流教室】受験に向けて、志望校に受かるようにと真剣にやりがいをもって学習に取り組んでいます。

【家庭教育支援】親子でふれ合いながら、福祉の体験をする事ができたと好評でした。

日出町

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図			
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)					
5	小学校	中学校	6	行政職員	地域住民	その他			
	5	2		0	6	0			
活動区分									
小学生チャレンジ教室		土曜アクティブ交流教室		家庭教育支援					

<実施体制や活動の概要>

(1) 豊岡地区放課後子ども教室の活動 (小学生チャレンジ教室)

日出町豊岡地区で実施しています。月曜～金曜の放課後、豊岡地区公民館の空き部屋で、下校時から16時30分までの間、宿題をしたり、友達と遊んだりしています。また月1回程度、年中行事のイベントを行っています。運営や見守りは主に公民館職員と地域ボランティアの方と保護者が調整して行っています。

(2) 川崎っ子公民館クラブの活動 (小学生チャレンジ教室・土曜アクティブ交流教室)

日出町川崎地区で実施しています。勉強や遊びを通して年齢に関係なく出会いとふれあいを楽しみ、子どもたちが健やかで心豊かに過ごせる環境づくりと、地元への関心と興味を深めていくことを目的に開催しています。小学生チャレンジ教室では約60名、土曜アクティブ交流教室では約20名が参加しています。運営や見守りは主に地域ボランティアの方と保護者が調整して行っています。

(3) 家庭教育講座 (家庭教育支援)

日出町内5地区において、各地区で年2回、家庭教育講座を実施しています。

<活動事例>

小学生チャレンジ教室

豊岡地区放課後子ども教室

対象は豊岡小学校の児童全員で、現在38名の児童が参加しており、月曜～金曜の放課後、豊岡地区公民館の空き部屋で、下校時から16時30分までの間、宿題をしたり、友達と遊んだりしています。児童の見守りは、主に公民館職員と地域ボランティアの方と保護者が調整して行っています。また月に1回程度、年中行事イベントを実施しています。ハロウィン・クリスマス会などのお楽しみイベントも行いますが、花まつりや芋植え・芋掘り、かるた大会など、日頃体験しないことも体験します。夏休み期間には「夏休み子ども教室」を開催し、料理教室や工作、介護施設の訪問などを行いました。活動には自主教室の方々や豊岡地区婦人会の方々に協力をいただきイベントも多く、異世代間の交流が行われることによる相乗効果と、公民館自体の活性化の核となっています。これらの経験が豊かな人間性や社会性を培い、自分で考え行動する力を醸成し、ひいては児童の郷土愛につながるものと考えています。

- 【4月】花まつり
- 【5月】端午の節句
- 【6月】芋植え体験
- 【7月】七夕
- 【7月～8月】夏休み子ども教室 (卓球教室・工作教室・料理教室・ソーメン流し・施設訪問 他)
- 【9月】お月見
- 【10月】ハロウィンパーティー
- 【11月】芋ほり体験
- 【12月】クリスマス会
- 【1月】かるた大会・冬の運動会
- 【2月】節分



4・5・12月を除く第3水曜日に「放課後川崎っ子公民館クラブ」として、主に小学校の体育館やグラウンドを借りて様々な体験活動を行っています。対象は川崎小学校の児童全員で、月ごとにチラシを配布して申し込みを行う形を取っており、平均して60人の児童と活動をしています。川崎っ子公民館クラブでは地域の方々との協力によって成り立っています。川崎っ子公民館クラブの活動は、ボランティアの方（主に川崎小学校の児童の保護者など）で構成された「企画・実行委員会」で、児童が楽しみながら地域と交流のできるものを計画し、当日は見守りボランティアとして児童と一緒に活動をしています。また活動自体も地域人材を生かしたものが多く、老人クラブの方々にグラウンドゴルフを習ったり、地区の手品が得意な方を招き、「マジック教室」と称して手品を習ったりと多彩な活動を行いました。そして川崎っ子公民館クラブは、地域の団体の皆さんにもご協力を頂いています。自治公民館長や民生・児童委員等による見守りを始め、児童クラブと連携して毎回活動を行ったり、老人クラブを始めとする団体と共催したりしています。

- 【6月】ドッジビー・スマイルボーリング・輪投げ・ポッチャ・ダーツ・吹き矢 他
- 【7月】出前講座（サイエンスショー・風船ホバークラフト工作 他）
- 【10月】グラウンドゴルフであそぼう！
- 【11月】マジック教室
- 【1月】座禅体験
- 【2月】傘袋ロケットづくり



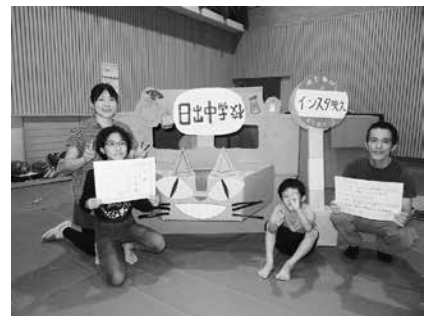
4・5・12月を除く第4土曜日に、「土曜日川崎っ子公民館クラブ」として、主に川崎地区の公民館で活動を行い、公民館に親しみを持ってもらうようにしています。また、夏休み期間には「夏休み川崎っ子公民館クラブ」として各種活動を行っています。対象は川崎小学校の児童全員で、月ごとにチラシを配布して申し込みを行う形を取っており、約20人の児童と活動をしています。活動内容は、放課後川崎っ子公民館クラブと同様、工作にソーメン流しや運動会、講師をお呼びしての科学実験など、毎年行うものと新しい試みを取り入れることと様々です。活動の目玉としては9月に1泊2日で行う「ダンボールハウス」があります。川崎小学校の体育館を借り、保護者と児童で協力して1つの家をつくり、その家に1泊します。今年度は16家族が参加して、それぞれ思い思いの家を作成しました。

土曜日川崎っ子公民館クラブ

- 【6月】ゴムでっぼうと紙コップの的づくり
- 【9月】ダンボールハウスをつくろう
- 【10月】おばけスイートポテトをつくろう！
- 【11月】二階堂美術館ワークショップ
- 【1月】ノルディックウォーク体験
- 【2月】お菓子作り体験

夏休み川崎っ子公民館クラブ

- 【7月】
 - ・人形劇
 - ・みんなで運動会
- 【8月】
 - ・ソーメン流し
 - ・写仏体験



日出町内5地区（小学校区に相当）において、各地区で年2回、家庭教育講座を実施しています。対象は幼稚園児の保護者ですが、講座の内容によっては園児と一緒に受講することもあります（例：親子体操など）。講義内容は、子育て・食育・運動など、講師を招いての講義が主ですが、園児と一緒にいる場合は、園児の好奇心や興味をそそる題材を取り入れて実施しています。



臼杵市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図		
箇所数	対象学校数			人数	(内訳)			
	小学校	中学校	その他 (幼稚園等)		行政職員	地域住民	その他	
5	13	5	2	8	8	0	0	
	活動区分							
学校支援活動		小学生チャレンジ教室		中学生学び応援教室				
土曜アクティブ交流教室		家庭教育支援						

<実施体制や活動の概要>

本市では、8名の協育コーディネーターを配置しています。市内を5ブロック（中学校区）に分け、協育コーディネーターは各中学校の学校運営協議会委員となり学校支援や地域活動支援等を行っています。また、社会教育指導員や社会人権・同和教育指導員を兼ねており、高齢者、女性、青少年、家庭教育、読書活動、人権等の事業を担当し、本市社会教育活動の発展に努めています。

<活動事例>

学校支援活動	臼杵まなびりすと
<p>地域の人材を把握して、子どもたちや地域の学習活動に活用できるように「協育」ネットワークを構築し、相互に連携・協力して、子どもの生きる力を育てています。臼杵まなびりすとには、子育て・読書、人権、健康・福祉、環境、芸術・文化、スポーツなど多くの分野について知識、経験、技術等をお持ちの方に登録いただいております。みなさんの学習ニーズへのつなぎや、地域課題の解決、魅力づくりへの一助に結びつくものになっています。学校行事やPTA活動、地域活動等で支援していただいております。</p>	
小学生チャレンジ教室	臼杵放課後子ども教室
<p>算数の計算や国語の漢字など、プリントを使って何度も繰り返し学習を行うことにより一人一人に基礎的・基本的な内容を身につけさせたいと考えています。</p>	

<p>中学生学び応援教室</p>	<p>中3生公民館教室</p>
<p>平成27年度より、子どもたちや学校・家庭・地域の要望に応じて、高校受験を控えた中学3年生を対象に基礎学習を中心とした取り組みを行っています。</p> <p>今年度は全日程19回、夏休み及び土曜日の午前中を利用し、3時間授業で国語・数学・英語・理科・社会の中から希望の教科を学習するようになっています。指導者として退職教員にお願いし、各教科とも2名から4名の指導者に熱心に指導していただいています。本事業も5年目を迎えて子どもたち・学校・地域に認知され、習熟度に応じた指導も好評になっています。今後もより効果のある事業になるよう学校・指導者と連携して継続していきたいと思ひます。</p>	
<p>土曜アクティブ交流教室</p>	<p>臼杵っこ土曜教室「うすき塾」「英語でまなぼう」</p>
<p>”ふるさと臼杵”をキーワードに、科学実験、歴史や文化、社会、自然、生活体験、英語を通じ、さまざまな体験学習を行うことにより、「学ぶ力」「誠実さ」「たくましさ」「おもいやりのこころ」を身につけた”臼杵っこ”を目指して実施しています。</p> <p>今年度は、毎月1回、第2土曜日の「うすき塾」に小4～小6の22名が、「英語でまなぼう」に小3～小6の27名が参加し、学校も年齢も異なる仲間とさまざまな活動を通じ、”ふるさと臼杵”や世界のことを学びました。</p> <p>今後も、子どもたちの興味と可能性を広げる魅力ある学習内容となるよう活動していきたいと考えています。</p>	
<p>家庭教育支援</p>	<p>家庭教育学級「にじっこ」</p>
<p>「生きる力が身についた子どもの育成」（子育て）、「子どもが安心できる居場所（心のふるさと）となる親」（親育ち）をめざし、地域住民によるボランティアと連携し、様々な活動を行っています。今年度は、「にじっこ」（乳幼児期学級、年24回開催）、「ホットプレイス」（学童期学級、年12回開催）、「乳幼児体操教室」（乳幼児期学級、年24回開催）と多様な教室・活動を開催し、多くの市民の方々に参加していただきました。</p> <p>今後も魅力ある学級運営を目指し、家庭・地域・学校と連携して活動していきたいと思ひます。</p>	



<活動の成果・効果>

本市の取り組みは、それぞれが魅力的なものとなるよう関係者で話し合いながら事業を組み立てています。その成果の一つとして「住みたい田舎」ベストランキングで上位ランクインしています。「2020年版住みたい田舎ベストランキング」（人口10万未満の小さなまち部門）では、若者世代、シニア世代が住みたい田舎部門で第1位。子育て世代が住みたい田舎部門で第2位。総合部門第4位となっています。

今後も、それぞれの活動で学校、家庭、地域、行政が協力して「3つのきょう育」（郷土の郷育、協力の協育、響き合いの響育）に取り組み、子どもから高齢者まで心の通い合う教育の実践を続けることで本市の魅力に磨きをかけていきたいと考えています。

津久見市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図		
箇所数	対象学校数			人数	(内訳)			
1	小学校	中学校	その他 (幼稚園等)	1	行政職員	地域住民	その他	
	5	2	4		0	0	1	
活動区分								
小学生チャレンジ教室			土曜アクティブ交流教室					

<実施体制や活動の概要>

本市では、地域住民や大学生が講師となり、学習支援を中心とした活動を行っています。市教委に配置しているコーディネーター(元教員)が、これまでの指導経験を活かして、年間の学習プログラムの作成や指導方法の検討・提案を行っています。また、会議には各学校長(または教頭)にも参加していただき、子どもたちと関わる上で地域住民が感じている悩みや学校の要望等を互いに共有しています。講師・子どもたちにとっては楽しさとやりがいを感じられるよう、また学校にとっては負担が少しでも軽減されるよう、日々充実した活動づくりに励んでいます。

<活動事例>

小学生チャレンジ教室

「つくみ蔵」体験学習(津久見小学校×津久見高等学校)

津久見小学校の児童が、津久見高等学校のマーケティング実習“つくみ蔵”を体験しました。小学生は、商品知識・POP作成・接客マナー等のビジネススキルを高校生から学び、10月に津久見市内で開催された「ふるさと振興祭」で、両校合同で“つくみ蔵”を出店しました。講座は全6回のシリーズで、参加した児童は主体性・積極性・協調性・責任感・勤労観・郷土愛などを身につけることができました。

- 【講座内容】
- 第1回：“つくみ蔵”の商品を試食しよう！
 - 第2回：“つくみ蔵”の接客マナーを学ぼう！
 - 第3回：“つくみ蔵”のPOP広告を作ろう！
 - 第4回：“つくみ蔵”出店の準備をしよう！
 - 第5回：“つくみ蔵”販売活動inふるさと振興祭
 - 第6回：“つくみ蔵”の振り返りをしよう！



津久見市ふるさと振興祭の様子

小学生チャレンジ教室

春の学習クラブ・夏の学習クラブ

春休みに小学6年生と中学3年生、夏休みに小学5年生と中学2年生の希望者を対象に実施している補充学習会。大分大学の学生を中心に、地域住民やコーディネーターが講師となり、これまでの学習内容の振り返りを目的としたプリント演習等を行っています。夏の学習クラブでは、個々の習熟度に合わせた指導ができるよう、標準・応用のコースを設け子どもたちが選択できるようになっています。

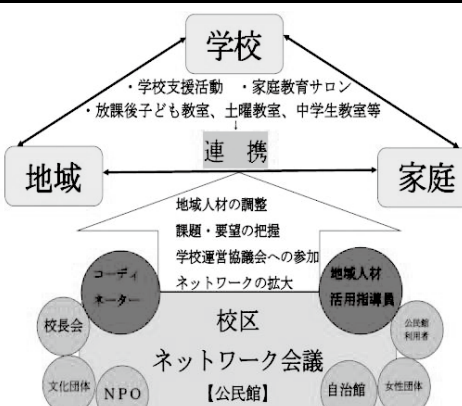
指導にあたっては、学習指導を行う講師と主催である生涯学習課の職員が、参加者の様子や理解度に関して情報を毎日共有し、個々の状況に応じた問題の提供や指導を行うことを常に心掛けています。また、いち早く解法を理解した子どもが周りの子どもにヒントを与えたり、子どもたち同士で理解を深めようとする「教え合い」の様子が見られることも特徴のひとつとなっています。

指導風景・春



指導風景・夏





由布市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図			
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)					
3	小学校	中学校	4	行政職員	地域住民	その他			
	10	3		7	0	4	0		
活動区分									
学校支援活動		小学生チャレンジ教室		中学生学び応援教室					
土曜アクティブ交流教室		家庭教育支援							

<実施体制や活動の概要>

公民館を拠点とした校区ネットワーク会議を中学校区ごとに設置し、地域の様々な関係団体と連携を図りながら活動を行っています。活動の中心を担っているのは、公民館に配置された地域人材活用指導員と校区コーディネーターです。両者が学校運営協議会委員としてコミュニティ・スクールの運営に参画し、学校と地域の連携をさらに進めるとともに、中学生教室の実施、各学校における郷土学習「由布学」への地域人材派遣など活動の幅を広げています。また、学校教職員との合同研修会を毎年開催し、学校に地域人材や協働活動事例の紹介をすることで、各学校の地域ネットワーク形成をサポートし、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて取り組んでいます。

<活動事例>

学校支援活動	学校支援活動	
 <p>学校で打合せをする様子</p>	 <p>地域の人と石臼で黄粉作り</p>	<p>活動を調整する中で、まずは学校が子どもたちに伝えたい内容・思いをしっかり確認することを意識しています。それを受けて講師と調整を行ない、学校と講師の認識に相違が出ないように努めています。</p> <p>また、各調整の際に話しやすい雰囲気を作ることで、関係者の率直な思いや考えを引き出せるように努めています。</p>
小学生チャレンジ教室	ゆふの寺子屋	放課後チャレンジ教室
 <p>学びの教室の様子</p>	 <p>庄内神楽体験</p>	<p>週1回各小学校や公民館において、学習支援や軽スポーツ・制作・昔の遊び・伝統文化などの体験活動を実施しています。</p> <p>体験では、経験に基づく知識や技術を指導するだけでなく、子ども自身が興味を持ち、なぜそうするのかを考え、生きる力が育まれるような指導に配慮しつつ、楽しい放課後のひと時となるよう地域の方と協力して取り組んでいます。</p>

中学生学び応援教室

ゆふの寺子屋 中学生学び応援教室



ALT講師による中学生英語教室



大学生による指導の様子

英語と数学の教室を概ね週1回ずつ実施しています。英語に関しては、地域在住の現職ALTを講師として、実用性の高い発音・聞き取り学習に取り組んでいる教室もあります。また、これまで地域協育事業に参加してきた子どもたちが大学生となった今、講師として帰ってきている教室もあり、人材の循環が生まれています。

土曜アクティブ交流教室

ゆふの寺子屋 土曜教室



イベント時のお茶教室成果発表



うた教室 練習の様子

土曜日に、公民館において様々な体験教室を実施しています。長期休み中には、日頃とは違う特別教室を実施し、子どもたちが幅広く体験できるように努めています。また、学んだ知識と技術をさらに会得・活用するために、祭りやイベント時に学習成果を披露する場を設定しています。

家庭教育支援

家庭教育支援活動



ヨガ講座の様子



リース作りの様子

年度初めに家庭教育支援員（兼校区コーディネーター）と社会教育課で会議を行ない、保護者が抱える課題や要望を協議したうえで、家庭教育連続講座を企画・実施しています。また、より焦点を絞った取り組みとして地域ごとの家庭教育サロンを開催し、保護者の身近にあって安心・相談ができる場所を作るよう努めています。

<活動の成果・効果>

人口減少・核家族化が進む由布市において、地域住民の方々は家族のような接し方で子どもたちの支援にあたっています。コミュニティ・スクールの活性化に対応し、自分に何ができるか工夫を凝らし、支援に向けて周りに声をかけたりと、積極的に関わろうとする人が多くなってきました。

また、学校や公民館での子どもたちの様子に関心を持ち、見守ってくれる人が増えた一方で、大人から褒められることで一層頑張ることができる子どもも増えてきました。地域の方々に子どもから感謝の気持ちを伝えると、「嬉しかった。」「また参加したい。」「子どもに元気をもらった。」などの感想をいただき、交流の深まりを感じています。さらに、これまで地域協育事業に参加してきた子どもたちが成長し、指導者として参加している教室もいくつかあり、継続すること、人材育成の大切さを実感しています。

佐伯市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図			
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)					
12	小学校	中学校	14	行政職員	地域住民	その他			
	19	12		1	0	9			
活動区分									
学校支援活動		小学生チャレンジ教室		土曜アクティブ交流教室					
家庭教育支援									

<実施体制や活動の概要>

- 佐伯市では、平成20年度から「協育」ネットワークによる学校支援活動に取り組み、学校の環境整備、子どもたちの学習補助や、地域生活における安全・安心の確保において、ネットワークで結んだ地域人材や住民ボランティアが大きな力を発揮しています。平成31年度からは全中学校区に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとなった学校と地域学校協働本部として活動する「協育」ネットワークが、車の両輪となって地域の子どもたちを育むとともに、地域活性化を図る活動を展開しています。
- 「協育」ネットワーク連携推進事業の実施体制としては、学校支援活動は中学校区に配置した校区コーディネーター(14名)が地域との橋渡し役を担い、小学生チャレンジ教室と土曜アクティブ交流教室では、公民館に配置した社会教育推進員(8名)が中心となりコーディネートしています。

<活動事例>

学校支援活動	鶴谷中学校区ネットワーク会議
<p>○ネットワークが結ぶ多様な地域人材による学校支援活動 校区ネットワークを中心として地域の情報共有を図り学校の支援体制を構築しています。H30年度は2,000人以上の地域住民が小学校の読み聞かせや中学校の部活動補助、登下校の見守り活動などに参加しました。</p> <p>○地域課題解決に向けた「子どもたちによる地域貢献活動」 総合的な学習の時間では、地域課題解決とまちづくりに向けた学習を推進しています。その中で、地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、様々な地域行事に中学生ボランティアが活動を展開しています。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>◆「渡町台地区ふれあい祭り」で活躍する中学生ボランティア</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>◆「ほのぼの東っ子まつり」で活躍する中学生ボランティア</p> </div> </div>	
小学生チャレンジ教室	学びの教室
<p>○水曜日の放課後、市内16校で4年生を対象に算数と国語の補完学習を行っています。事業の実施、運営は退職教員を主体とする佐伯市「学びの教室」運営連絡会に委託し、約60名の指導者で300人近い参加児童の指導を行っています。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> </div>	

○土曜アクティブ交流教室では、各地域の公民館を中心に小学4～6年生を対象とした9つのクラブが体験活動に取り組んでいます。そのうちの年4回、「青少年交流体験事業（アクティブ）」として9つのクラブが一同に集い、自然体験を通じた郷土学習や他校生との交流を深めながら、郷土愛や社会性を育てています。

<p>◆海辺の体験 イカダ作り</p> 	<p>◆川辺の体験 鮎のちよんがけ</p> 	<p>◆登山体験</p> 	<p>◆トレジャーハンティング 宝物探し散策</p> 
<p>イカダレース</p>	<p>火起こし体験</p>		<p>竹細工体験</p>
			

○元教職員等で構成された佐伯市子パンダ支援チームが、「就学前の慌てない子育てのヒント」を伝えるため、就学前の児童とその保護者を対象に家庭教育講座「佐伯市子パンダプログラム」を実施しています。子パンダという名称には、転んでも転んでも起き上がるパンダの姿を今を生きる子ども達に照らしあわせ、また、参加者にとって気軽に親しみのある事業になってもらいたいという思いを込めています。

◆親子参加型ワークショップ：
鉛筆の持ち方や支援チームが独自で作成した数図カードを使った遊び方の紹介を通して、子どもとの関わり方のポイントを体験してもらいます。



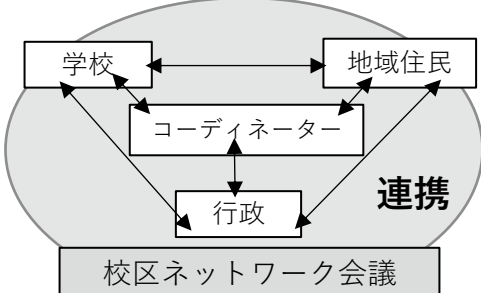
◆親子参加型ワークショップ：
ドリンクを飲みながら和やかな雰囲気の中でグループワーク。支援チームから子育て・孫育ての経験を活かしたアドバイスのお話をします。



<活動の成果・効果>

- 校区ネットワークにより学校に地域住民が集うことで、住民同士のつながりが強くなっています。また、地域行事にボランティアとして参加する中学生は、活躍の場があることで大きな自信を得ているとともに、中学生が責任感に満ち自発的に取り組む姿は、主催者や参加者に大きな感動を与えています。
- 地域住民を講師に招いたり、自然体験を行うことで、子ども達が地域を知るきっかけとなり、地域のつながりや郷土愛の醸成が図られています。
- 校区コーディネーターが学校と地域の橋渡し役を担うことで、学校は負担軽減や地域の参画による活動の充実となり、また地域は活性化につながる双方向の支援に変わってきています。
- 家庭教育講座「佐伯市子パンダプログラム」が保護者同士の交流のきっかけとなり、情報共有や育ての悩みを相談する場となっています。

竹田市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図	
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)			 <p>※会議にて、学校・地域・関係団体が情報共有 コーディネーターが中心となり活動実施</p>
12	小学校	中学校	10	行政職員	地域住民	その他	
	12	6		0	0	10	
活動区分							
小学生チャレンジ教室		土曜アクティブ交流教室					

<実施体制や活動の概要>

竹田市では、令和元年度、小学校 12 校のうち 11 校区にて小学生チャレンジ教室、2 校区（重複）にて土曜アクティブ教室を実施。1 校区については合同実施であるが、その他各校区にコーディネーターを配置。各校区において、コーディネーターを中心に、学校・地域住民等との連携を図りつつ、計画・連絡調整を行い、学びの教室・体験教室を実施しています。体験教室については、郷土料理を学ぶ「料理教室」・「竹工芸教室」等、地域の特徴を学べる教室をはじめとし、各校区さまざまな体験教室に取り組んでいます。

コーディネーター会議を年 3 回実施し、市内のコーディネーター同士で情報共有を行っています。また、校区毎に年 1 回校区ネットワーク会議を実施し、学校・地域・関係団体と意見交換を通じ、地域全体で子どもを育む体制整備を図っています。

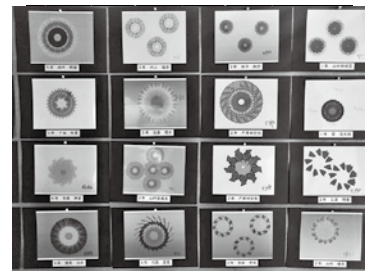
<活動事例>

小学生チャレンジ教室

荻放課後子ども教室



荻放課後子ども教室では「学び・習字・パソコン・百人一首・ものづくり」の 5 つの教室を毎月開催しています。子どもたちの活動内容や作品を地域の方々に見てもらう機会を増やすため、「月 1 回広報の発行・毎月公民館に習字作品の展示・11 月のふるさとまつりに出展」といった目標を掲げています。令和元年度はパソコン教室のデジタルアート（右の写真）や、ものづくり教室での工作などに特に力を入れて活動してきました。



※地域のふるさとまつりに放課後子ども教室児童の作品を出展

小学生チャレンジ教室

宮城台放課後子ども教室

宮城台放課後子ども教室では「学び、グラウンドゴルフ、料理、手作り、竹工芸、フラワーアレンジメント」の教室を開催しました。竹工芸は、竹田市在住の作家の方に講師を依頼し実施しました。子どもたちは作品を作る中で、山にたくさんある竹が昔から大切な道具になっていたこと、便利な道具になることなどを学び、また作品の完成で喜びを感じていました。

グラウンドゴルフ、フラワーアレンジメント、手芸、手作り教室は、地域の方の趣味・特技を活かし講師になっていただきました。講師になった地域の方からも、子どもたちと交流を深めることで、生きがい・やりがいを感じているようで「楽しかった」「励みになった」等の意見をいただいています。



※竹工芸教室の様子

小学生チャレンジ教室

直入放課後子ども教室

直入放課後子ども教室では、「地域で子どもを育てたい」「子どもたちに様々な体験をする機会を作りたい」と願い、体験型教室10種類(各1~3回)、学びの教室(全25回程度)を実施しています。令和元年度は全校92名のうち、55名の児童が何らかの教室に参加しています。

指導者・見守りスタッフの確保については、人が人を呼び12年目にして30名程度集まっています。スタッフの中で継続して活動に携わってくれている方が多数おり、スタッフ同士、相談・協力・分業ができる安定した体制となり、組織的に取り組んでいます。今後の活動に向けて、後継者を育てることも考え、常にスタッフ募集に気を配っています。学校や学童クラブとの連携もスムーズにでき、早帰りやバスの運行、悪天候への対処等、事務的な内容から児童間のトラブルや学習支援の方法など子どもとの関わり方まで、情報共有し、さまざまな子どもがいる状況でも、子どもの心に寄り添う指導・見守りができるよう心掛けています。



※木工教室の様子

小学生チャレンジ教室

白丹放課後子ども教室



PC教室で合成写真作り



染物体験



折り紙教室での作品

白丹小学校の放課後子ども教室では毎週の学びの教室、月1回の折り紙教室の他、竹田市内で活動されている作家さんや先生に依頼し、夏休みを中心に体験型の教室を開催しています。

小学生チャレンジ教室

菅生放課後子ども教室

菅生放課後子ども教室では、以前は学びの教室・体験教室を実施していましたが、令和元年度は学びの教室のみ実施しています。全校児童25名中22名が参加しており、全員が学習可能な教室がない為、低学年と高学年の2教室に分かれて行っています。

教室のはじめに、低学年は「おやくそく」を全員で音読し、絵本の読み聞かせを行っています。高学年は、全員で詩の音読を行っています。次に各児童宿題をし、その後用意した算数の練習問題に取り組んでいます。練習問題が終われば、読書。子どもたちは、読書の時間を楽しみに宿題や練習問題に取り組む姿が見られます。また、活動の成果を子どもたちに意識させる為、終わりの挨拶の前に、当番にその日「できたことやがんばったこと」の発表をしてもらいます。

放課後児童クラブとの連携も図り、学校から家庭まで切れ目のない活動が実施できています。



※低学年読み聞かせの様子

<活動の成果・効果>

校区ネットワーク会議を通じ、学校と地域住民(コーディネーター・指導者・見守り)が意見を交えることで、学校・放課後の子どもたちの様子等を情報共有し、学校・地域の関係づくりに繋がっています。また、継続的に協力してくれる地域住民の方が多数いるため、子どもたちも安心して活動に参加できています。体験教室では、地域の特色を活かした教室も多くあり、子どもたちの郷土愛を育む活動にもなっています。子どもたちは活動を通じ、普段できないような体験を生き生きと楽しみ、子ども同士の関係をより深める機会になっています。地域住民の方についても、地域の子供たちは身近に感じられ、世代を超えた交流は喜び・やりがいに繋がっています。今後も学校・地域が連携を図り、地域の活性化・子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを推進します。

豊後大野市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図	
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)			
11	小学校	中学校	11	行政職員	地域住民	その他	
	11	7		0	6	0	
活動区分							
小学生チャレンジ教室		中学生学び応援教室					

<実施体制や活動の概要>

- ・校区CNは、月曜日に準備を行い、水曜日にチャレンジ教室の実施。地域CNは通常の公民館事業の運営の傍ら準備を行い、水曜日に実施。また、1~2か月に一度土曜日に開催。
- ・統括CNは、月曜日に校区CNと、毎月不定期に地域CNと打ち合わせを行う。
- ・各CNは、必要に応じて運動会や入学式などに参加している。
- ・積極的に学校地域支援課が主催する「協育」ネットワーク関係者研修及び外部人材を活用した地域プログラム開発事業に参加している。

<活動事例>

小学生チャレンジ教室	体験の教室 (1)	
		<p>地元で長く活躍されている地域の達人や、地域活動に積極的に協力していただく企業・団体にも参加をお願いしています。</p>
しめ縄飾りづくり (地域の達人)	地元企業の協力で太鼓体験 (豊勇会)	
小学生チャレンジ教室	体験の教室 (2)	
構え どうっ! スポーツチャンバラ	空気銃? 発射! (おもしろ科学体験)	心を静めて (住職による座禅体験)
		<p>学校や家庭では体験することができない活動も積極的に取り入れています。</p>

小学生チャレンジ教室

学びの教室



講師による紙芝居を静かに聞いている様子



みんなで真剣に宿題や自主学習に取り組んでいる様子

学びは学校の宿題や音読はもちろんですが、講師やサポーターの積極的な関わり（物語の朗読やゲームの出題など）で、“プラスアルファ”の学びがあり、子どもたちもそれを受けていきいきしています。

小学生チャレンジ教室

市や学校の枠を超えた活動の取り組み



九電未来財団の協力による森林体験の様子



DMATの訓練を体験（外部人材開発事業）

学校内の活動にとどまらず、市外での体験や、県の事業への参加を通して、“放課後チャレンジ教室ならではの”活動を行っています。

小学生チャレンジ教室

その他見守り活動



平成29年10月13日、市は警友会（警察OBの会）と豊後大野警察署とともに放課後チャレンジ教室のボランティア募集に関する協定書を締結しました。市では、引き続き子どもたちの安全対策を力強く進めてまいります。

<活動の成果・効果>

現在本市では急激な少子高齢化の進展に伴い、地域の子どもの数が減少しています。ただ、そのような中においても、地域の方においてはこのチャレンジ教室を“活躍の場”としていただき、子どもたちも楽しく安全に過ごせており、まさにこの事業が相乗効果として良い方向に向かっています。

また、保護者のアンケートからも好評いただいているところです。まさに地域と学校と家庭がよいバランスで進んでいます。市は“誰もが主役”という視点を持ちながら今後とも地域の教育力の下支えを行い、子どもたちの健やかな成長と地域活動の活発化を祈っています。

日田市

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図			
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)					
23	小学校	中学校	8	行政職員	地域住民	その他			
	18	12		0	0	3			
活動区分									
小学生チャレンジ教室		中学生学び応援教室		土曜アクティブ交流教室					
家庭教育支援									

<実施体制や活動の概要>

小学生チャレンジ教室、土曜アクティブ交流教室、中学生学び応援教室については、地区集会所や地区公民館、小中学校の教室を利用し実施しております。地区集会所では、実行委員会形式をとっており、地区公民館については、公民館が主体となって活動しております。
 家庭教育支援については、日田市連合育友会母親部と連携し、日田市中央公民館にて講演会を実施しております。

<活動事例>

土曜アクティブ交流教室

桂林夏休み学び教室

地区公民館を利用し、夏休み中に10日間で実施しています。対象は、1小学校区の全学年としていて、夏休みの宿題を中心に学習支援・補充学習を行います。午前中を3コマに分け、読書の時間や夏休みの工作、自由研究制作の時間などもあります。帰りは、高学年が低学年の見守りを行い、町内ごとに一斉下校を行っています。



土曜アクティブ交流教室

小野夏休みわくわく教室

地区公民館を利用し、夏休み中に10日間で実施しており、全校生徒が参加しています。当地区においては、放課後児童クラブの整備がなされていないこともあり、貴重な子どもの居場所となっております。公民館の青少年事業と組み合わせ、事業を拡大して実施しています。午前中は、放課後子ども教室として3コマ、午後は、青少年事業として2コマ実施し、夏ならではの水遊びやそうめん流しなどの体験活動も取り入れており、全校生徒、地域住民、公民館とが一体となって活動を行っています。



近年の核家族化や少子化、共働き世帯の増加など家庭形態の多様化に伴い、日田市では公民館を中心に家庭教育講演会を実施し、家庭の教育力の向上に資するべく情報の提供や学習機会の提供を行っています。
「子供・若者育成支援強調月間」である11月に合わせ、日田市連合育友会と連携し、講演会の運営・実施をしています。

思春期の子どもの理解を深めよう
～若くない子ども、親よ、何を求めているのか？～
永光 健一郎 氏 子供・若者育成支援強調月間

子どもが理解する発達性子どもの発達段階、思春期、妊娠、育児、いじめ、虐待、虐待防止など、子どもの心の発達段階の理解を深め、適切な対応がとれるよう、親の役割を改めて考え、実践、自然、毎日、学びの場から、心の発達に合わせた対応がとれるよう、実践が期待されています。

子どもは言葉で話さずとも自分の気持ちを上手に伝えることができます。身体も心も成長して、適切な対応がとれるよう、実践が期待されています。

久慈東人学芸学部心理学系心理福祉学専攻 准教授、児童心理学、発達心理学、教育心理学、心理学、教育心理学者
特別・連携教育推進部 心理学・発達心理学

日田市家庭教育講演会

日時 平成30年 **11月16日(金)**
開場 18:30 19:00～20:50

会場 **日田市民文化会館**
(パトリア日田小ホール)

お問い合わせ先 **日田市教育行政課 生涯学習推進課** ☎ 0973-22-6866

主催：日田市教育委員会・日田市家庭教育支援部会（189名の方々が参加）

子どもたちの笑顔が輝く 子供・若者育成支援強調月間
「ほめ達！」の魔法をお伝えします。
日田市家庭教育講演会
ほめる教育研究所 代表 竹下 幸喜

「ほめ達！」の魔法をお伝えします。ほめる教育研究所 代表 竹下 幸喜

1 「ほめ達！」の魔法をお伝えします！
2 「ほめ達！」の魔法をお伝えします！
3 「ほめ達！」の魔法をお伝えします！

日時 令和元年 **11月22日(金)**
開場 18:00 19:00～20:50

会場 **日田市複合文化施設AOSE**
(多目的ホール)

お問い合わせ先 **日田市教育行政課 生涯学習推進課** ☎ 0973-22-6866

主催：日田市教育委員会・日田市家庭教育支援部会（189名の方々が参加）



【受講者の感想】

- ・親子の会話の大切さを改めて実感した。
- ・医療的な観点から思春期の子供たちのこと学べて勉強になった。
- ・これから思春期を迎えるわが子に寄り添っていきなりたいと思った。



【受講者の感想】

- ・自信を持ってほめてやろうと思った。
- ・手を止めて話を聞いてみる。
- ・日頃の当たり前を大切にしたい。

中学生学び応援教室

休道 水曜塾 ・ 立志 土曜塾

毎週水曜日（休道 水曜塾）及び第2・第4土曜日（立志 土曜塾）に数学・英語の学びの場を設け、日田市の中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着を図っています。また、指導者については教員OB等の地域人材を活用することで、地域との協育力を高めることを目的としています。

【休道 水曜塾】毎週水曜日の放課後に中学1、2年生の希望者を対象に数学の教室（1時間）を開設
・実施回数 1年生 6月～2月、2年生 5月～2月 ※学校の休業日は開催なし 年間最大34回開催
・実施場所 各中学校の余裕教室

【立志 土曜塾】毎月第2、第4土曜日に中学2年生の希望者を対象に、数学・英語（3時間）の教室を開設
・実施回数 5月～2月 ※夏季・冬季休業中は開催なし 年間16回
・実施場所 日田市複合文化施設（アオーゼ） ※一部、スクールバスによる送迎あり

<活動の成果・効果>

- ・子どもたちが教室へ参加するにあたり、保護者が送迎などの面でサポートするようになりました。
- ・教員OB等、指導者同士でネットワークが形成されてきたように感じます。
- ・地域住民が指導者となることで、子どもたちと指導者の双方が身近な存在になってきています。
- ・子どもたちとの関わりの中で、生活に張り合いが出たという指導者の声もあります。

九重町

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置			体制図			
箇所数	対象学校数		人数	(内訳)					
8	小学校	中学校 その他 (幼稚園等)	8	行政職員	地域住民	その他			
	6	1	2	5	0	3			
活動区分									
学校支援活動			小学生チャレンジ教室						

<実施体制や活動の概要>

- ・実施は、毎週水曜日 15:00～17:00
- ・コーディネーターを中心に活動プログラムを決定。
- ・地域の方を講師としてお招きし、プログラムをすることもあります。
- ・プログラムの内容としては、田植え・稲刈り・芋苗植え・芋堀などの自然体験や門松づくりなどの工作など
- ・地域の方々との交流（グループホーム交流など）も行っています。

<活動事例>

学校支援活動	クラブ活動（東飯田小学校）
<p>東飯田小学校で、地域の方をゲストティーチャーとして迎えて、仕事、趣味、地域のことなど様々な分野について授業してもらうという取り組みを行っています。その取り組みの中で、ゲストティーチャーを探す時に公民館主事が活用されています。</p> <p>小学校から「こんな分野が得意な人を知りませんか？」という形で依頼があるので、探して、コンタクトをとって OK がもらえたら小学校に紹介しています。これまでは魚釣り、グラウンドゴルフ、将棋、料理、手芸、折り紙などのゲストティーチャーを紹介してきました。授業は体験型になるものが多く、ゲストティーチャーには協働活動支援員として謝礼を支払っています。また、ゲストティーチャーをサポートしてくれる方がついた場合も協働活動サポーターとして謝礼を支払っています。</p>	
小学生チャレンジ教室	宝っこ夢フィールド（東飯田放課後チャレンジ教室）
<p>毎週水曜日15:30～17:00に、東飯田地区放課後チャレンジ教室「宝っこ夢フィールド」を行っています。4月に学校を通じてチラシを使って募集をかけて、1～6年生30名から応募があり5月末から実施しています。</p> <p>コーディネーターが毎月の内容を決めて、協働活動支援員がそれを実施、協働活動サポーターが安全面などのサポートに入っています。3役とも地域住民。</p> <p>内容によっては協働活動支援員と協働活動サポーターは外部団体などから呼ぶこともあります。</p> <p>主な内容は地域行事（ちまきづくり、干し柿づくり、ハロウィン紙粘土、クリスマスツリーづくり、門松づくり、羽子板づくり、たこづくり、豆まきなど）、工作、料理、地域との交流（プランター花くぼり、グループホーム交流、空きビン回収）など。</p>	
宝っこ豆まき	

毎週水曜日15:00～17:00に、野矢放課後チャレンジ教室及び野上放課後チャレンジ教室を実施しています。4月に学校を通じてチラシを使って募集をかけ、今年度は野矢放課後チャレンジ教室では1～6年生23名、野上放課後チャレンジ教室では1～4年生14名から応募があり、5月から実施しています。コーディネーターが毎月の内容を決めて、協働活動支援員と協働活動サポーターが共同で実施します。

内容によって協働活動支援員を外部団体などから呼ぶこともあり、主な内容は福笑い、アロマ石鹸づくり、ハーバリウムなどのものづくり、バドミントンやドッチビーなどのスポーツ、クリスマスケーキや餅つきなどの料理教室を実施しています。



野矢・野上活動内容

- ・毎週水曜日 15:00 ～ 17:00 に、南山田放課後チャレンジ教室を実施しています。4月に学校を通じてチラシを使って募集をかけ、1～6年生48名で実施しています。
- ・南山田放課後チャレンジ教室は、南山田放課後児童クラブと共同で行う、一体型の教室です。
- ・6月から開始し、コーディネーターが毎月の内容を決めて、協働活動支援員と協働活動サポーターが共同で実施します。内容によって協働活動支援員は、外部団体（育成協・町田長寿会など）から呼ぶこともあります。
- ・主な内容は田植えや稲刈り・芋苗植えや芋堀などの自然体験、さくらもち・お月見団子などのクッキング、編み物・竹馬づくり等を実施しています。



南山田育成協・町田長寿会との田植



<活動の成果・効果>

- ・公民館の中に、児童クラブがあることによりチャレンジ教室との連携強化が図れています。
- ・公民館を利用する高齢者との世代間交流が図れています。
- ・地域の大人による安心安全な見守りができています。
- ・淮園小学校と南山田小学校など違う学校同士の交流が生まれています。
- ・登録人数の増加につながっています。
- ・児童クラブの預かりとの連携で、教室の活動にメリハリができています。
- ・淮園小学校は、地域の路線バスでの移動なので、社会経験と地域への還元が生まれています。

玖珠町

校区ネットワーク会議の設置			「協育」コーディネーターの配置				体制図
箇所数	対象学校数			人数	(内訳)		
4	小学校	中学校	その他 (幼稚園等)	7	行政職員	地域住民	その他
	8	1	0		0	7	0
活動区分							
学校支援活動		小学生チャレンジ教室		学庭教育支援			

校区ごとのネットワーク間の連携強化

「協育」コーディネーターが
地域人材コーディネート（ボランティア）

↑↓ 参画・協働

学校

↕ 切れ目ない支援 ↕

地域 ↔ 家域

<実施体制や活動の概要>

「協育」ネットワークを活用した地域の教育の協働を推進するため、地域「協育力」向上支援事業の中で、学校支援活動に取り組んでいます。旧中学校区単位（7校区）に協育コーディネーターを配置し、学校から依頼を受けた内容に応じて保護者や地域のボランティアに支援を依頼して学校教育活動を支援する取り組みを全小中学校に広げて10年目を向かえます。学校支援活動の内容は、授業の補助（ゲストティーチャー）、郷土の歴史や地域行事の学習、花壇や樹木の整備・剪定等の校内環境の整備、登下校時における子どもの安全確保に係る活動、その他学校行事の運営支援など、さまざまな活動が行われています。

<活動事例>

学校支援活動	学習支援
 <p>高校生がやさしく指導し会話も弾む</p>	<p>『稲刈り体験』学習支援 米作り学習の一環として、玖珠美山高校地域産業科生徒の指導を受けながら、稲刈りの手順や要領を理解し安全に合同作業を行っていました。「高校生がとても上手とほめてくれた」「やさしく教えてくれたおかげで早い手つきでできるようになった」など児童生徒にとって合同作業をとおして、多くの学びがあり交流も深まり稲刈り同様に実りの多いものとなりました。</p>
 <p>商家の屋敷で計量升についての説明</p>	<p>『昔の農具や生活用具（見学学習）』学習支援：社会科 「くらしのうつりかわり」として校区内にある民家の支援協力を得て、昔の生活道具や農機具に触れ、今との生活の違いや移り変わりを学びました。子どもたちは個別に学習課題を設定しており、講師の話をももしたり質問しながら意欲的に取り組んでいました。「見学したかったら、いつでもいらっしゃい。」と声をかけていただき引率の先生方にも良い学習機会となりました。</p>

小学生チャレンジ教室

放課後チャレンジ教室（放課後子ども教室）



防災教室として保存食の作り方



ホッケー教室

放課後や夏休み等に小学校の余裕教室等を活用して、こどもたちの安心・安全な居場所を設け、地域ボランティアの協力の下でスポーツや文化活動、自然体験などを行う取組み。4小学校区（森中央・塚脇・北山田・八幡）で実施しています。

小学生チャレンジ教室

放課後チャレンジ教室（学びの教室：寺子屋）



基礎学力の定着支援のため、地域ボランティアによる算数のドリル学習を放課後や夏休みに実施する取組み。4小学校区（森中央・塚脇・北山田・八幡）で毎週月曜日もしくは金曜日に実施しています。

家庭教育支援

家庭教育講座



核家族化、共働き家庭・ひとり親家庭の増加や地域のつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境は変わりつつあり、身近な相談相手がいないなど、家庭教育を支援する必要性が高まっています。昨年度は、玖珠町出身の落語家「三遊亭鳳志」と九重町出身の落語家「三遊亭じゃんけん」さんの落語会を通して、参加者それぞれの家庭のあり方について笑って学ぶ会を実施しました。

<活動の成果・効果>

保護者や地域の方々が支援に入ることで、子どもたちの学習への関心や意欲が高まったり、地域の大人と子どもが知り合い、声を掛け合える関係ができるなど学校や子どもたちにとって様々な効果が期待されています。また支援に入る保護者や地域の方々にとっても、生涯学習活動の成果を活用する場となったり、日頃接することのない大人同士が活動を介して知り合いになるなど、地域の大人の関係作り、地域の教育力の向上等が期待されています。

【学校現場の声】・技能的教科の学習支援はおおいに助かった。・子どもたちの、興味・関心を引き出し、集中して授業に取り組めた。・実際に範を示しながら指導をしてくれて、参考になった。・地域の文化や歴史について、教員自身も勉強になった。

【支援者の声】・学校の役に立ててよかった。・みんな楽しそうに取り組んでいてよかった。・子どもたちに語り継ぐ学習の場をもらい、大変うれしい。・郷土や文化に興味や関心をもってもらい、郷土を愛する子どもに育てほしい。・地域の方と触れ合いながら、教えていただき、交流ができてよかった。



○「協育」ネットワークについてのお問い合わせは下記の担当課へお願いします

<「協育」ネットワーク全般に関すること>

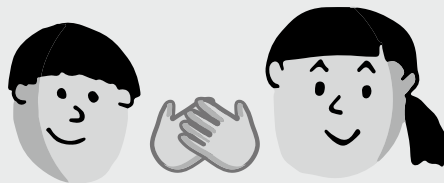
担当課	所在地	電話番号
大分県教育庁 社会教育課	大分市府内町3丁目10番1号	097-506-5526

<各地域の取組に関すること>

担当課	所在地	電話番号
中津市 社会教育課	中津市豊田町14番地3	0979-22-4942
豊後高田市 教育総務課	豊後高田市中真玉2144番地12	0978-53-5112
宇佐市 社会教育課	宇佐市上田1030-1	0978-27-8198
別府市 社会教育課	別府市上野口町1-15	0977-21-1587
杵築市 社会教育課	杵築市山香町大字野原1010-2	0977-75-2413
国東市 社会教育課	国東市国東町鶴川160-2	0978-72-2121
姫島村 社会教育課	姫島村1681-2	0978-87-2113
日出町 社会教育課	日出町3891番地2 日出町中央公民館内	0977-73-3156
臼杵市 社会教育課	臼杵市臼杵72-1 臼杵市中央公民館内	0972-63-6444
津久見市 生涯学習課	津久見市大友町5番15号	0972-82-9528
由布市 社会教育課	由布市庄内町柿原302番地	097-582-1203
佐伯市 社会教育課	佐伯市中村東町6-9	0972-22-3245
竹田市 生涯学習課	竹田市大字会々1650	0974-63-4817
豊後大野市 社会教育課	豊後大野市三重町市場1200番地	0974-22-1001
日田市 社会教育課	日田市上城内町2-6	0973-22-6868
九重町 社会教育課	九重町後野上8-1	0973-76-3823
玖珠町 社会教育課	玖珠町岩室24-1	0973-72-7151

※中核市である大分市は県の補助事業である「協育」ネットワーク連携促進事業の対象ではないため、市独自の事業を実施しています。

3. 「学校を核とした地域づくり」 に向けて



3. 「学校を核とした地域づくり」に向けて

(1) 国や県の動向

平成 29 年 3 月の小中学校学習指導要領の告示、社会教育法等関係法令の改正により、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、地域と学校の連携・協働による地域学校協働活動の推進を図ることが示されました。

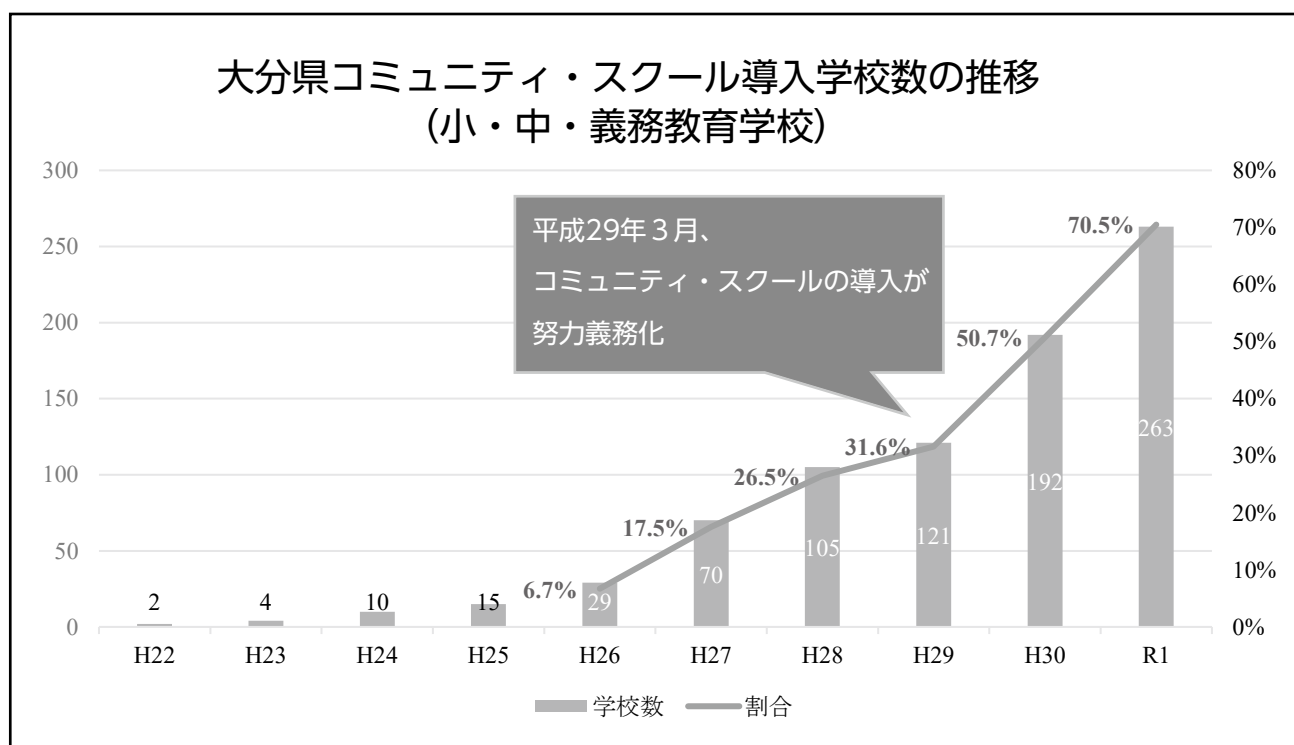
そのため、各教育委員会には、すべての学校がコミュニティ・スクールの導入を目指すことや、活動の拠点となる地域学校協働本部を整備することなどの方向性が示されたところです。

このような流れを受け、大分県では、コミュニティ・スクールの一層の導入促進を図るとともに、これまでの「協育」ネットワークの取組を基盤として、従来の学校支援活動や地域の教育活動などを地域と学校の連携・協働による取組へと一歩進め、子供たちへの教育効果や地域の教育力の向上を図るとともに、地域の活性化やまちづくりにもつながる「学校を核とした地域づくり」に向けて取り組んでいるところです。

(2) 県内のコミュニティ・スクールの状況について

大分県では、コミュニティ・スクールの導入が年々進んでおり、令和元年 5 月 1 日現在 70.5% の小・中・義務教育学校がコミュニティ・スクールとなるなど、全国で 3 番目に高い導入率となっている。

一方で、県内のコミュニティ・スクールの半数以上は、この 2 年間で取組を始めたばかりの学校であり、体制は整ったものの活動自体が手探りの学校も多く、モデルケースとなる好事例の普及や地域への啓発など課題も残されている。

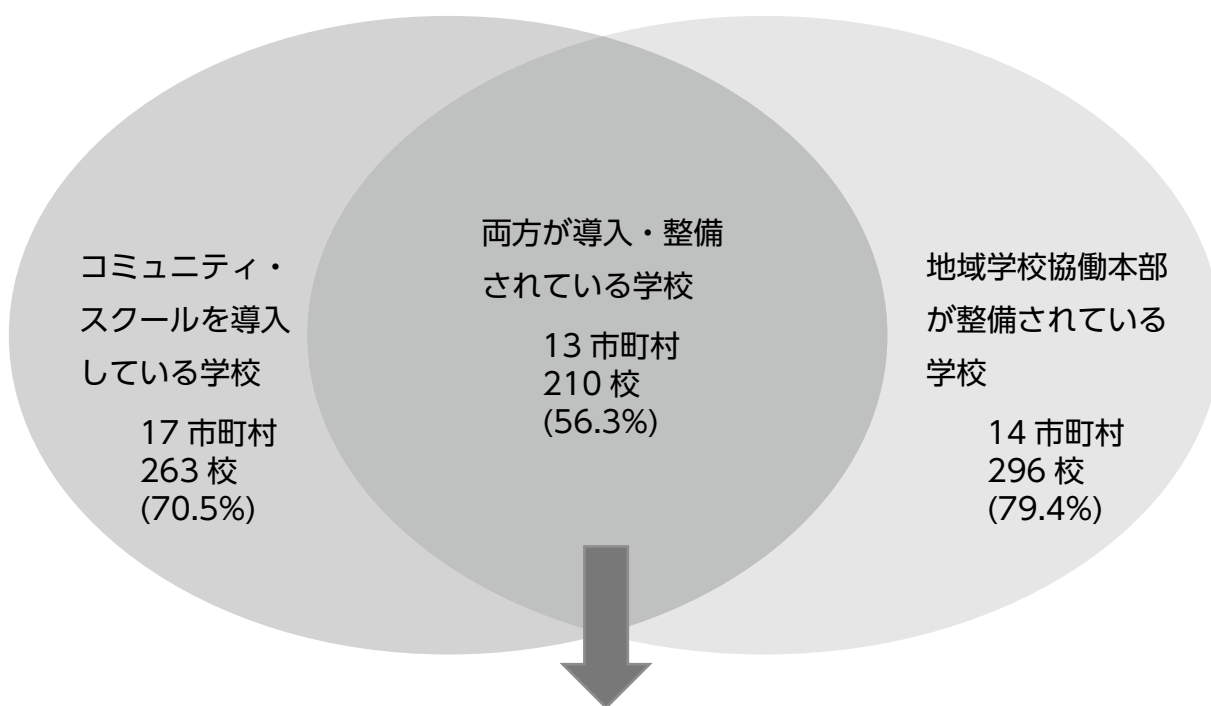


(3) 「協育」ネットワークを地域学校協働本部へ

大分県では、従来から「協育」ネットワークによる学校支援活動や地域での教育活動を推進してきましたが、平成 29 年以降、「協育」ネットワークと学校との連携をさらに深め、より多様な活動を総合的・継続的に行う地域学校協働本部としての機能を持つ新たな体制づくりに務めてまいりました。

また、「協育」ネットワークの活動の企画・運営を行う「協育」コーディネーターについて、学校と地域、また地域住民同士をつなぐ役割を果たすことができるよう、法に位置づけられた「地域学校協働活動推進員」の委嘱と「学校運営協議会委員」への任命を推進しているところです。

大分県内の公立小・中・義務教育学校の状況 (R1.5.1現在)



地域学校協働活動推進員を学校運営協議会委員に任命している学校：4市町村 53校 (14.2%)

地域学校協働活動推進員の人数



学校運営協議会委員である「協育」コーディネーターの人数



(4) 「地域とともにある学校づくり」推進ワーキンググループ

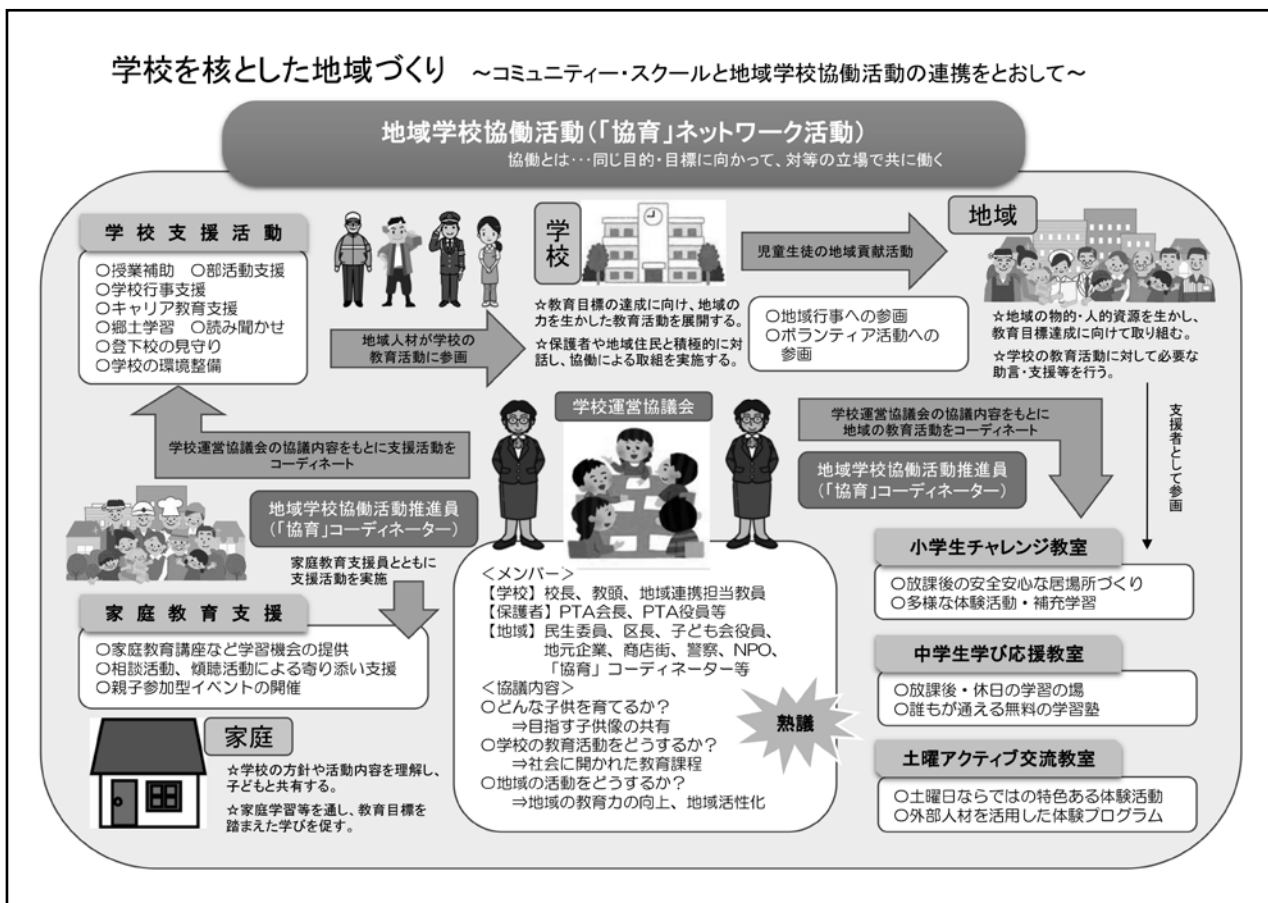
大分県では、平成 29 年度より、有識者や教育委員会関係者、学校関係者、地域関係者等からなる「地域とともにある学校づくり」推進ワーキンググループを設置し、コミュニティ・スクールの成果や課題の検証・改善、学校運営協議会制度と「協育」ネットワークの活動が両輪として機能する環境整備について協議を行っています。

本年度は、文部科学省コミュニティ・スクール推進員である梶原敏明氏を座長として、中津市、佐伯市、竹田市の関係者が集い、コミュニティ・スクールと「協育」ネットワークの連携・協働について取組を報告し協議を深めました。

また上記3市の取組については、令和2年1月15日に竹田市で開催した「地域とともにある学校づくり」推進協議会、同年2月14日に大分市で開催した「地域学校協働活動」推進フォーラムにて発表いたしました。



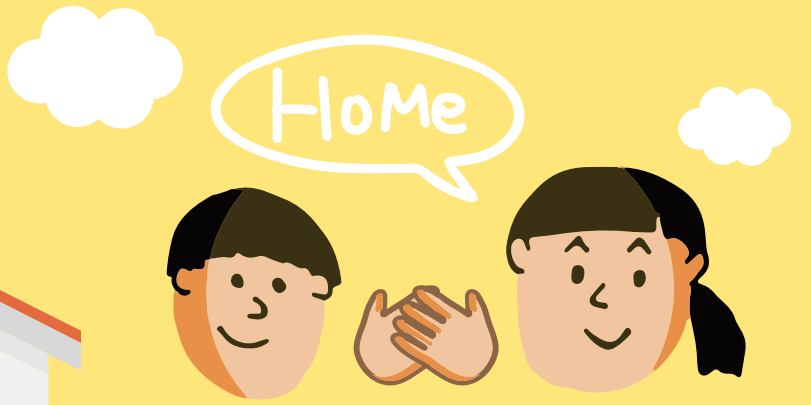
<「協育」ネットワークによる「学校を核とした地域づくり」イメージ>



おおいた
「協育」ネットワーク活動事例集
(「協育」ネットワーク連携促進事業実施報告書)

令和2年3月発行

編集・発行 大分県教育庁社会教育課
〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号
TEL 097-506-5526



大分県教育委員会

